

# 『篆隸萬象名義』における俗字の研究(2)

—魏晋から隋唐までの楷書の俗字—

大柴清圓

---

はじめに

一、楷書の俗字

- (一)、簡略化された俗字
- (二)、複雑化された俗字
- (三)、混同された俗字
- (四)、同化された俗字
- (五)、位置が移動した俗字

二、各項の解説

- (一)、簡略化された俗字
  - (二)、複雑化された俗字
  - (三)、混同された俗字
  - (四)、同化された俗字
  - (五)、位置が移動した俗字
- 

はじめに

筆者は『『篆隸萬象名義』における俗字の研究(1) —後漢の隸変字から魏晋の草書の楷書化まで—』(『高野山大学密教文化研究所紀要』第21号、2008年2月、以下【大柴2008】と記す)において、後漢における隸書の俗字ならびに魏晋における行草書の俗字を範囲とした『篆隸萬象名義』(以下『萬象名義』と称す)所出の俗字に関する字形の歴史的变化ならびにその根拠を示した。本稿は残る魏晋・南北朝・隋唐の時代を範囲とした『萬象名義』所出の楷書の俗字に関する論考を行う。

解説の中で引用した『萬象名義』所出の文字の頁数は以下の如く示した。例えば「6.19オ」とは、第6帖の第19頁のオモチのことであり、「2.42ウ」とは、第2帖の第42頁ウラのことである。この頁数は弘法大師全集に共通する高山寺本『萬象名義』影印本のそれである。

一、楷書の俗字

(一)、簡略化された俗字

1. 𨔵 = 𨔵<sup>1</sup> (付録「俗字表」<sup>2</sup> 117参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𨔵	還 「袁良碑」	還 「孔彪碑」 <sup>3</sup>	還 齊「比丘法朗造象」 <sup>4</sup>

2. 賔 = 賓 (付録「俗字表」 118参照)

小篆	隸定	隸変		楷書
賔	賓 「度尚碑」	賓 「魏孔羨碑」	賓 「西狹頌」 <sup>5</sup>	賓 魏「司馬昇墓誌」 <sup>6</sup>

3. 典 = 典 (付録「俗字表」 119参照)

小篆	隸定	隸変		楷書
典	典 「景北海碑」	典 「孔宙碑」	典 「曹全碑」 <sup>7</sup>	典 隋「寇遵考墓誌」 <sup>8</sup>

4. 𨔵 = 𨔵 (付録「俗字表」 120 参照)

5. 罍 = 罍

小篆	隸変		楷書
罍	罍 「桐柏廟碑」	罍 (剛)「北海相景君銘」	罍 (罍)魏「元羽墓誌」 <sup>10</sup>
	罍 (罍)「仲定碑」 <sup>9</sup>		罍 (罍)唐「劉玄豹夫人高氏墓誌」 <sup>11</sup>

6. 龠 = 龠 (付録「俗字表」 121 参照)

1 イコールで結ぶ左辺は『萬象名義』所出の俗字を、右辺は正字または通用字(の一部)を表す。

2 紙数の都合上、俗字表は別の機会にまとめて発表する予定である。

3 『隸辨』42頁。

4 『碑別字新編』398頁。

5 『隸辨』31頁。

6 『碑別字新編』305頁。

7 『隸辨』102頁。

8 『碑別字新編』50頁。

9 『隸辨』60-61頁。

10 『碑別字新編』58頁。

11 『碑別字新編』58頁。

7. 之 = 乏 (付録「俗字表」122参照)

8. 囧 = 因 (付録「俗字表」123 参照)

小篆	隸定	隸变	楷書
	因 「白石神君碑」	因 「尹宙碑 <sup>12</sup> 」	因 魏「孝文帝吊比干文」 因 隋「智永千字文 <sup>13</sup> 」

9. 喬 = 喬 (付録「俗字表」124 参照)

小篆	隸变	楷書
	喬 「三公山碑 <sup>14</sup> 」	喬 魏「華嶽廟碑」 喬 魏「吳郡王蕭正表墓誌 <sup>15</sup> 」

10. 亞 = 亞 (付録「俗字表」125参照)

小篆	隸变	楷書
	亞 「史晨奏銘 <sup>16</sup> 」	亞 魏「王誦墓誌 <sup>17</sup> 」

11. 寬 = 寬

小篆	隸定	隸变	楷書
	寬 「陳球碑」	寬 「石經論語殘碑」 寬 「楊震碑 <sup>18</sup> 」	寬 「太上洞玄靈寶妙經衆篇序章 <sup>19</sup> 」

12. 害 = 害 (付録「俗字表」126参照)

小篆	隸定	隸变	楷書
	害 「袁良碑」	害 「桐柏廟碑 <sup>20</sup> 」	害 魏「寇憑堂碑 <sup>21</sup> 」

<sup>12</sup> 『隸辨』30頁。

<sup>13</sup> 『王羲之書法字典』146頁。

<sup>14</sup> 『隸辨』50頁。

<sup>15</sup> 『碑別字新編』193頁。

<sup>16</sup> 『隸辨』150頁。

<sup>17</sup> 『碑別字新編』47頁。

<sup>18</sup> 『隸辨』41頁。

<sup>19</sup> 『敦煌俗字典』226頁。

<sup>20</sup> 『隸辨』136頁。

<sup>21</sup> 『碑別字新編』190頁。

13. 故=故

14. 乞=乞 (付録「俗字表」127 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 (迄)「周公礼殿記」	 「魯峻碑」 「樊敏碑 <sup>22</sup> 」	 北魏「張猛龍碑 <sup>23</sup> 」

15. 酉=酉 (付録「俗字表」128 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「校官碑」	 「韓勅喪碑」 「劉衡碑 <sup>24</sup> 」	 (醉)「仏説八師經 <sup>25</sup> 」

16. 舟=舟

小篆	隸定	楷書
	 「魏大饗碑 <sup>26</sup> 」	 魏「元顛墓誌」 魏「馬都愛造像 <sup>27</sup> 」

17. 唐=唐 (付録「俗字表」129 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「孔龢碑 <sup>28</sup> 」	 隋「馬穉墓誌」 唐「段沙彌造象 <sup>29</sup> 」

<sup>22</sup> 『隸辨』171頁。

<sup>23</sup> 『中国書法大字典』頁。

<sup>24</sup> 『隸辨』115頁。

<sup>25</sup> 『敦煌俗字典』578頁。

<sup>26</sup> 『隸辨』118頁。

<sup>27</sup> 『碑別字新編』29頁。

<sup>28</sup> 『隸辨』60頁。

<sup>29</sup> 『碑別字新編』114頁。

## 18. 鬼=鬼 (付録「俗字表」130参照)

小篆	隸変	楷書
鬼	鬼 「曹全碑 <sup>30</sup> 」	魁 (魁) 「仏説生經 <sup>31</sup> 」

## 19. 多=多 (付録「俗字表」131参照)

小篆	隸変	楷書
多	多 「尹宙碑 <sup>32</sup> 」	多 魏 「元融墓誌 <sup>33</sup> 」

## 20. 歸=歸 (付録「俗字表」132参照)

小篆	隸変	楷書
歸	歸 「老子銘 <sup>34</sup> 」	歸 魏 「寇霄墓誌 <sup>35</sup> 」 歸 「老子道經 <sup>36</sup> 」

## 21. 度=度 (付録「俗字表」134参照)





小篆	隸変	楷書
度	度 「韓勣兩側題」 度 「魯峻碑 <sup>37</sup> 」	度 唐 「李戢妃鄭氏墓誌 <sup>38</sup> 」

## 22. 象=象 (付録「俗字表」135参照)



小篆	隸定	隸変	楷書
象	象 「史晨奏銘」	象 「郟閣頌 <sup>39</sup> 」	象 隋 「龍山公墓誌 <sup>40</sup> 」

<sup>30</sup> 『隸辨』90頁。<sup>31</sup> 『敦煌俗字典』228頁。<sup>32</sup> 『隸辨』53頁。<sup>33</sup> 『碑別字新編』23頁。<sup>34</sup> 『隸辨』18頁。<sup>35</sup> 『碑別字新編』407頁。<sup>36</sup> 『敦煌俗字典』139頁。<sup>37</sup> 『隸辨』130頁。<sup>38</sup> 『碑別字新編』87頁。<sup>39</sup> 『隸辨』108頁。<sup>40</sup> 『碑別字新編』225頁。




23. 惡 = 惡

小篆	隸変	楷書
	 「北海相景君銘」  「西狹間頌 <sup>41)</sup> 」	 魏「元寿安墓誌 <sup>42)</sup> 」





24. 𠂔 = 𠂔

小篆	楷書
	 (𧈧)「兔園策府 <sup>43)</sup> 」




25. 里 = 黑 (付録「俗字表」136 参照)

小篆	隸変	楷書
	 「史晨奏銘 <sup>44)</sup> 」	 (黨) 齊「李琮墓誌 <sup>45)</sup> 」

26. 草 = 革 (付録「俗字表」137参照)

小篆	隸変	楷書
	 「唐扶頌 <sup>46)</sup> 」	 (鞠) 北魏「鞠彦雲墓誌 <sup>47)</sup> 」  (勒) 隋智永「千字文 <sup>48)</sup> 」

27. 尔 = 尔 (付録「俗字表」138 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「鄭固碑 <sup>49)</sup> 」	 魏「根法師碑 <sup>50)</sup> 」

<sup>41)</sup> 『隸辨』131 頁。

<sup>42)</sup> 『碑別字新編』201 頁。

<sup>43)</sup> 『敦煌俗字典』329 頁。

<sup>44)</sup> 『隸辨』190 頁。

<sup>45)</sup> 『碑別字新編』449 頁。

<sup>46)</sup> 『隸辨』181 頁。

<sup>47)</sup> 『中国書法大字典』1503 頁。

<sup>48)</sup> 『碑別字新編』148 頁。

<sup>49)</sup> 『隸辨』32 頁。

<sup>50)</sup> 『碑別字新編』97 頁。

## 28. 臺 = 臺

小篆	隸定	楷書
臺	臺 「景北海碑陰 <sup>51</sup> 」	臺 魏 「李超墓誌 <sup>52</sup> 」

## 29. 咎 = 咎

小篆	隸变	楷書
咎	咎 「靈臺碑 <sup>53</sup> 」	咎 魏 「李超墓誌」 咎 唐 「嗣曹李戡墓誌 <sup>54</sup> 」

## 30. 𠂔 = 正 (付録「俗字表」139 参照)

小篆	隸定	隸变	楷書
𠂔	𠂔 「鄭固碑」	𠂔 「曹全碑 <sup>55</sup> 」	𠂔 魏 「劉洛真造象 <sup>56</sup> 」

## 31. 嬰 = 嬰

小篆	隸变	楷書
嬰	嬰 (嬰) 「冀州從事郭君碑 <sup>57</sup> 」	嬰 唐 「亡妻李氏墓誌 <sup>58</sup> 」

## 32. 𦵏 = 白 (付録「俗字表」140 参照)

小篆	隸变	楷書
𦵏	𦵏 「衡方碑 <sup>59</sup> 」	𦵏 魏 「高貞碑 <sup>60</sup> 」 𦵏 東晋王羲之「名臣 <sup>61</sup> 」

<sup>51</sup> 『隸辨』29頁。

<sup>52</sup> 『碑別字新編』300頁。

<sup>53</sup> 『隸辨』115頁。

<sup>54</sup> 『碑別字新編』53頁。

<sup>55</sup> 『隸辨』45頁。

<sup>56</sup> 『碑別字新編』36頁。

<sup>57</sup> 『隸辨』65頁。

<sup>58</sup> 『碑別字新編』378頁。

<sup>59</sup> 『隸辨』156頁。

<sup>60</sup> 『碑別字新編』414頁。

<sup>61</sup> 『王羲之書法字典』494頁。

33. 解=解 (付録「俗字表」141 参照)

小篆	隸定	楷書
	「韓勅碑 <sup>62</sup> 」	魏「解伯達造像 <sup>63</sup> 」  東晋王献之「万歳通天進帖 <sup>64</sup> 」

34. 帛=虎

小篆	隸定	楷書
	「魏上尊號奏 <sup>65</sup> 」	魏「韓震墓誌陰 <sup>66</sup> 」

35. 互=氏 (付録「俗字表」142参照)

小篆	隸定	楷書
	(祗)「桐柏廟碑 <sup>67</sup> 」	(低)齊「宋買造象 <sup>68</sup> 」  (低)唐太宗「晋祠銘 <sup>69</sup> 」

36. 莖莖=董 (付録「俗字表」143、144参照)

小篆	隸変	楷書
	(勤)「夏承碑」  (勤)「孔宙碑 <sup>70</sup> 」	(謹)魏「高宗嬪耿寿姬墓誌 <sup>71</sup> 」 (覲)「正名要録 <sup>72</sup> 」

37. 莫莫=莫 (付録「俗字表」145、146参照)

小篆	隸変	楷書
	「謁者景君碑陰」  「武榮碑 <sup>73</sup> 」	(難)魏「王基墓誌 <sup>74</sup> 」 (難)「太子瑞応本起経 <sup>75</sup> 」

<sup>62</sup> 『隸辨』96頁。

<sup>63</sup> 『碑別字新編』265頁。

<sup>64</sup> 『王羲之書法字典』526頁。

<sup>65</sup> 『隸辨』95頁。

<sup>66</sup> 『碑別字新編』73頁。

<sup>67</sup> 『隸辨』11頁。

<sup>68</sup> 『碑別字新編』31頁。

<sup>69</sup> 『中国書法大字典』75頁。

<sup>70</sup> 『隸辨』36頁。

<sup>71</sup> 『碑別字新編』416頁。

<sup>72</sup> 『敦煌俗字典』202頁。

<sup>73</sup> 『隸辨』143頁。

<sup>74</sup> 『碑別字新編』438頁。

<sup>75</sup> 『敦煌俗字典』284頁。



## 38. 悉 = 悉 (付録「俗字表」147参照)

小篆	隸変	楷書	
	「帝堯碑 <sup>76</sup> 」	齊「竇泰墓誌」	唐「大達法師塔銘 <sup>77</sup> 」

## 39. 婁 = 婁 (付録「俗字表」148参照)

小篆	隸変	楷書
	「孔宙碑 <sup>78</sup> 」	(婁) 「大目乾連冥間救母変文 <sup>79</sup> 」

## 40. 壽 = 壽 (付録「俗字表」149参照)

小篆	隸変	楷書
	(壽) 「魏孔羨碑 <sup>80</sup> 」	隋「宇文妙儀墓誌 <sup>81</sup> 」

## 41. 庸 = 庸




小篆	隸定	隸変	楷書
	「衡方碑」	「樊安碑 <sup>82</sup> 」	智永「千字文 <sup>83</sup> 」

## 42. 采 = 采




小篆	隸定	楷書
	「華山廟碑 <sup>84</sup> 」	唐「大泉寺三門記 <sup>85</sup> 」

<sup>76</sup> 『隸辨』167頁。<sup>77</sup> 『碑別字新編』159頁。<sup>78</sup> 『隸辨』75頁。<sup>79</sup> 『敦煌俗字典』253頁。<sup>80</sup> 『隸辨』74頁。<sup>81</sup> 『敦煌俗字典』280頁。<sup>82</sup> 『隸辨』5頁。<sup>83</sup> 『王羲之書法字典』226頁。<sup>84</sup> 『隸辨』61頁。<sup>85</sup> 『碑別字新編』126頁





43. 龜=龜

小篆	隸変	楷書
	 「魏受禪表 <sup>86</sup> 」	 隋 「程諧墓誌 <sup>87</sup> 」





44. 辰=辰 (付録「俗字表」150 参照)

小篆	隸変	楷書
	 「白石神君碑 <sup>88</sup> 」	 (辱) 隋智永 「千字文 <sup>89</sup> 」





45. 召=召 (付録「俗字表」151 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「唐公房碑 <sup>90</sup> 」	 「楊君石門頌 <sup>91</sup> 」	 (招) 北魏 「鄭道昭鄭文公下碑 <sup>92</sup> 」

46. 𠃉=𠃉

小篆	隸定	楷書
	 「校官碑 <sup>93</sup> 」	 (趨) 漢 「孝女曹娥碑 <sup>94</sup> 」  (雛) 魏 「元子正墓誌 <sup>95</sup> 」

47. 侯=侯 (付録「俗字表」152 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「華山廟碑」  「曹全碑 <sup>96</sup> 」	 「隸古定尚書 <sup>97</sup> 」

<sup>86</sup> 『隸辨』13 頁。  
<sup>87</sup> 『碑別字新編』375 頁。  
<sup>88</sup> 『隸辨』30 頁。  
<sup>89</sup> 『王羲之書法字典』561 頁。  
<sup>90</sup> 『隸辨』147 頁。  
<sup>91</sup> 『隸辨』148 頁。  
<sup>92</sup> 『中国書法大字典』645 頁。  
<sup>93</sup> 『隸辨』22 頁。  
<sup>94</sup> 『碑別字新編』397 頁。  
<sup>95</sup> 『碑別字新編』421 頁。  
<sup>96</sup> 『隸辨』75 頁。  
<sup>97</sup> 『敦煌俗字典』154 頁。

## 48. 詹 = 詹

小篆	隸定	隸変	楷書
詹	詹 (詹) 「高彪碑」	詹 「殺阬碑陰 <sup>98</sup> 」	詹 (詹) 魏 「貴華恭夫人墓誌 <sup>99</sup> 」

## 49. 安 = 安 (付録「俗字表」153参照)

小篆	隸定	楷書	
安	安 「韓勅碑陰 <sup>100</sup> 」	安 (偃) 魏 「元羽墓誌 <sup>101</sup> 」	安 唐 「彭城劉氏幼子墓誌 <sup>102</sup> 」

## 50. 匱 = 匱 (付録「俗字表」154参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
匱	匱 「韓勅兩側題」	匱 (偃) 「殺阬碑陰 <sup>103</sup> 」	匱 (偃) 魏 「元羽墓誌」 匱 (偃) 魏 「奚真墓誌 <sup>104</sup> 」

## 51. 堯 = 堯 (付録「俗字表」155参照)

小篆	隸定	隸変		楷書
堯	堯 「脩華嶽碑」	堯 「衡方碑」	堯 「魏上尊號奏 <sup>105</sup> 」	堯 魏 「元寧墓誌 <sup>106</sup> 」

## 52. 攜 = 攜 (付録「俗字表」156参照)

小篆	隸定	隸変
攜	攜 「楊統碑」	攜 「造橋碑 <sup>107</sup> 」

<sup>98</sup> 『隸辨』79頁。<sup>99</sup> 『碑別字新編』214頁。<sup>100</sup> 『隸辨』39頁。<sup>101</sup> 『碑別字新編』145頁。<sup>102</sup> 『碑別字新編』25頁。<sup>103</sup> 『隸辨』99頁。<sup>104</sup> 『碑別字新編』145頁。<sup>105</sup> 『隸辨』49頁。<sup>106</sup> 『碑別字新編』194頁。<sup>107</sup> 『隸辨』26頁。

## 53. 𠩺 = 鼎

小篆	隸定	隸変	楷書
鼎	鼎 「脩華嶽碑」	鼎 「陳寔殘碑 <sup>108</sup> 」	鼎 (鼎) 魏「司空公元瞻墓誌 <sup>109</sup> 」 折 (折) 齊「是連公妻邢夫人墓誌 <sup>110</sup> 」

## 54. 婁 = 婁 (付録「俗字表」45参照)

小篆	隸変	楷書
婁	婁 「孔宙碑 <sup>111</sup> 」	婁 (數) 魏「王紹墓誌 <sup>112</sup> 」

## (二)、複雑化された俗字

## 1. 菱 = 菱 (付録「俗字表」157参照)

## 2. 亾 = 亾 (付録「俗字表」158参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
亾	亾 「穀阬神祠碑」	亾 「北海相景銘 <sup>113</sup> 」	亾 「廬山遠公話 <sup>114</sup> 」





## 3. 𠩺 = 休

## 4. 𠩺 = 參 (付録「俗字表」159参照)





小篆	隸定	隸変	楷書
參	參 「楊著碑 <sup>115</sup> 」	參 「北海相景君銘 <sup>116</sup> 」	參 北魏「李超墓誌 <sup>117</sup> 」

<sup>108</sup> 『隸辨』113頁。<sup>109</sup> 『碑別字新編』274頁。<sup>110</sup> 『碑別字新編』66頁。<sup>111</sup> 『隸辨』75頁。<sup>112</sup> 『碑別字新編』322頁。<sup>113</sup> 『隸辨』58頁。<sup>114</sup> 『敦煌俗字典』418頁。<sup>115</sup> 『隸辨』77-78頁。<sup>116</sup> 『隸辨』78頁。<sup>117</sup> 『中国書法大字典』214頁。





## 5. 尗 = 𪗇 (付録「俗字表」160 参照)

小篆	隸変	楷書
	 (𪗇) 「曹全碑 <sup>118</sup> 」	 (𪗇) 魏「巨始光造像 <sup>119</sup> 」  (𪗇) 隋「楊秀墓誌 <sup>120</sup> 」





## 6. 高 = 喬 (付録「俗字表」161 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「三公山碑」	 「陳毳碑 <sup>121</sup> 」	 (橋) 魏「元道墓誌 <sup>122</sup> 」






## 7. 非 = 兆 (付録「俗字表」162 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「袁良碑 <sup>123</sup> 」	 (兆) 隋「閔明墓誌」  (兆) 唐「孫公亡夫人李氏墓誌 <sup>124</sup> 」

## 8. 𪗇 = 谷

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「魏孔羨碑」	 「北海相景君銘 <sup>125</sup> 」	 (俗) 隋「劉相墓誌 <sup>126</sup> 」

## 9. 索 = 索

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「魏大饗碑」	 「無極山碑 <sup>127</sup> 」  「王純碑陰 <sup>128</sup> 」	 魏「趙阿歡造象 <sup>129</sup> 」

<sup>118</sup> 『隸辨』158頁。

<sup>119</sup> 『碑別字新編』416頁。

<sup>120</sup> 『碑別字新編』333頁。

<sup>121</sup> 『隸辨』50頁。

<sup>122</sup> 『碑別字新編』353頁。

<sup>123</sup> 『隸辨』147頁。

<sup>124</sup> 『碑別字新編』19頁。

<sup>125</sup> 『隸辨』165頁。

<sup>126</sup> 『碑別字新編』78頁。

<sup>127</sup> 『隸辨』180頁。

<sup>128</sup> 『隸辨』179頁。

<sup>129</sup> 『中国書法大字典』頁。

10. 凡=凡

小篆	隸定	楷書
	凡 「景北海碑陰 <sup>130</sup> 」 𠂔 (𠂔) 「街彈碑 <sup>131</sup> 」	凡 魏 「魏靈藏造像 <sup>132</sup> 」

11. 毛=毛 (付録「俗字表」163 参照)

小篆	隸定	楷書
	毛 「史晨後碑 <sup>133</sup> 」	毛 魏 「兗州刺史元弼墓誌 <sup>134</sup> 」

12. 支=支 (付録「俗字表」164 参照)

小篆	隸定	楷書
	支 「校官碑」	支 (枝) 魏 「元恭墓誌 <sup>135</sup> 」

13. 升=升 (付録「俗字表」165 参照)

小篆	隸定	楷書
	升 「史晨後碑 <sup>136</sup> 」	升 晋 「樂安光磚誌 <sup>137</sup> 」

14. 印=印 (付録「俗字表」166参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	迎 「鄱閣碑 <sup>138</sup> 」		迎 「仏説生経 <sup>139</sup> 」
	抑 「校官碑」	抑 「劉熊碑 <sup>140</sup> 」	抑 齊 「元賢墓誌 <sup>141</sup> 」

<sup>130</sup> 『隸辨』81頁。

<sup>131</sup> 『隸辨』159頁。

<sup>132</sup> 『碑別字新編』2頁。

<sup>133</sup> 『隸辨』180頁。

<sup>134</sup> 『碑別字新編』24頁。

<sup>135</sup> 『碑別字新編』7頁。

<sup>136</sup> 『隸辨』69頁。

<sup>137</sup> 『碑別字新編』5頁。

<sup>138</sup> 『隸辨』64頁。

<sup>139</sup> 『敦煌俗字典』504頁。

<sup>140</sup> 『隸辨』188頁。

<sup>141</sup> 『碑別字新編』39頁。

15. 舟=冉 (付録「俗字表」167 参照)

小篆	隸变	楷書
舟	冉 「鄭固碑 <sup>142</sup> 」	舟 唐 「張玄弼墓誌 <sup>143</sup> 」

16. 澤=翠 (付録「俗字表」168参照)

小篆	隸定	隸变	楷書
澤	澤 「羊竇道碑」 澤 「劉熊碑」	澤 「華山廟碑」 澤 「北海相景君銘 <sup>144</sup> 」	澤 「翟突娑墓誌銘 <sup>145</sup> 」 澤 (澤) 「正名要録 <sup>146</sup> 」 幸 (幸) 「二教論 <sup>147</sup> 」

17. 俞=俞 (付録「俗字表」169 参照)

小篆	隸定	楷書
俞	踰 (踰) 「劉熊碑」 渝 (渝) 「州輔碑」 榆 (榆) 「石經魯詩殘碑 <sup>148</sup> 」	諭 (諭) 隋 「田光山妻李氏墓誌 <sup>149</sup> 」 瑜 (瑜) 唐 「玄秘塔碑 <sup>150</sup> 」 愈 (愈) 唐 「魏公先廟碑 <sup>151</sup> 」

18. 聿=聿 (付録「俗字表」170 参照)

小篆	隸变	楷書
聿	聿 「夏承碑 <sup>152</sup> 」	聿 (建) 「黃仕強伝 <sup>153</sup> 」

<sup>142</sup> 『隸辨』118 頁。

<sup>143</sup> 『碑別字新編』11 頁。

<sup>144</sup> 『隸辨』180 頁。

<sup>145</sup> 『碑別字新編』355 頁。

<sup>146</sup> 『敦煌俗字典』497 頁。

<sup>147</sup> 『敦煌俗字典』459 頁。

<sup>148</sup> 『隸辨』21 頁。

<sup>149</sup> 『碑別字新編』366 頁。

<sup>150</sup> 『碑別字新編』250 頁。

<sup>151</sup> 『碑別字新編』238 頁。

<sup>152</sup> 『隸辨』32 頁。

<sup>153</sup> 『敦煌俗字典』189 頁。

## 19. 𠄎 = 夷 (付録「俗字表」171参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𠄎	夷 「郟閣頌 <sup>154</sup> 」	夷 「衡方碑 <sup>155</sup> 」	𠄎 魏「銀青光祿大夫于纂墓誌 <sup>156</sup> 」

## 20. 𠄎 = 巫 (付録「俗字表」172参照)

小篆	隸定	楷書
𠄎	巫 「樊敏碑 <sup>157</sup> 」	𠄎 魏「呂望表 <sup>158</sup> 」

## 21. 𠄎 = 冀

小篆	隸変	楷書
𠄎	冀 「景北海碑陰 <sup>159</sup> 」	冀 東晋王羲之「淳化閣帖 <sup>160</sup> 」 冀 唐「王仲建墓誌 <sup>161</sup> 」

## 22. 𠄎 = 盡 (付録「俗字表」173参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𠄎	盡 「校官碑」	盡 「史晨奏銘 <sup>162</sup> 」	盡 「仏経 <sup>163</sup> 」

## 23. 𠄎 = 𠄎

小篆	楷書
𠄎	𠄎(𠄎)唐「敬善寺石象銘 <sup>164</sup> 」

154 『隸辨』11頁。

155 『隸辨』12頁。

156 『敦煌俗字典』23頁。

157 『隸辨』21頁。

158 『碑別字新編』36頁。

159 『隸辨』124頁。

160 『王羲之書法字典』91頁。

161 『碑別字新編』344頁。

162 『隸辨』98頁。

163 『敦煌俗字典』201頁。

164 『碑別字新編』74頁。



## 24. 𧈧 = 𧈧 (付録「俗字表」174 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	(𧈧)「楊震碑 <sup>165</sup> 」	「𧈧池五瑞碑 <sup>166</sup> 」	(𧈧)隋「段濟墓誌 <sup>167</sup> 」

## 25. 臺 = 臺

小篆	隸定	楷書
	「景北海碑陰 <sup>168</sup> 」	隋「段濟墓誌 <sup>169</sup> 」

## 26. 央 = 央 (付録「俗字表」175 参照)

小篆	隸変	楷書
	「張公神碑 <sup>170</sup> 」	魏「王僧墓誌」 魏「元嬭妃李瑗華墓誌 <sup>171</sup> 」

## 27. 兄 = 兄 (付録「俗字表」176 参照)

小篆	隸定	楷書
	「衡方碑 <sup>172</sup> 」	齊「武昌王啡吐谷渾氏墓誌 <sup>173</sup> 」

## 28. 斤 = 斤 (付録「俗字表」177 参照)

小篆	隸変	楷書
	「張表碑 <sup>174</sup> 」	(斤)齊「是連公妻邢夫人墓誌 <sup>175</sup> 」

<sup>165</sup> 『隸辨』69 頁。<sup>166</sup> 『隸辨』98 頁。<sup>167</sup> 『碑別字新編』430 頁。<sup>168</sup> 『隸辨』29 頁。<sup>169</sup> 『碑別字新編』300 頁。<sup>170</sup> 『隸辨』60 頁。<sup>171</sup> 『碑別字新編』13 頁。<sup>172</sup> 『隸辨』63 頁。<sup>173</sup> 『碑別字新編』11 頁。<sup>174</sup> 『隸辨』175 頁。<sup>175</sup> 『碑別字新編』66 頁。

29. 莢 = 蔑 (付録「俗字表」178参照)

小篆	隸変	楷書
莢	莢 「樊陽令楊君碑」 莢 「鄭固碑 <sup>176</sup> 」	蔑 「皇甫麟墓誌 <sup>177</sup> 」

30. 隔 = 隔 (付録「俗字表」179参照)

小篆	隸変	楷書
隔	隔 「樊敏碑 <sup>178</sup> 」	隔 (隔) 魏 「元譚墓誌 <sup>179</sup> 」 隔 (隔) 「仏説観仏三昧海經 <sup>180</sup> 」

31. 虜 = 虜 (付録「俗字表」180参照)

小篆	隸定	楷書
虜	虜 「魏上尊號奏 <sup>181</sup> 」	虜 齊 「比丘惠瓊造像 <sup>182</sup> 」 虜 隋 「龍藏寺碑 <sup>183</sup> 」

32. 廬 = 廬 (付録「俗字表」181参照)

小篆	隸定	楷書
廬	廬 (廬) 「魏上尊號奏 <sup>184</sup> 」	廬 (廬) 魏 「邢巒妻元純陀墓誌 <sup>185</sup> 」

33. 俊 = 俊 (付録「俗字表」182参照)

小篆	隸変	楷書
俊	俊 「郁閣碑 <sup>186</sup> 」	俊 隋 「元公墓誌 <sup>187</sup> 」

<sup>176</sup> 『隸辨』175頁。

<sup>177</sup> 『碑別字新編』334頁。

<sup>178</sup> 『隸辨』181頁。

<sup>179</sup> 『碑別字新編』361頁。

<sup>180</sup> 『敦煌俗字典』128頁。

<sup>181</sup> 『隸辨』95頁。

<sup>182</sup> 『碑別字新編』73頁。

<sup>183</sup> 『碑別字新編』74頁。

<sup>184</sup> 『隸辨』95頁。

<sup>185</sup> 『碑別字新編』425頁。

<sup>186</sup> 『隸辨』141頁。

<sup>187</sup> 『碑別字新編』77頁。

## 34. 𡗗 = 复 (付録「俗字表」183参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𡗗	𡗗 「楊統碑」	𡗗 「楊著碑 <sup>188</sup> 」	𡗗 隋「趙朗墓誌 <sup>189</sup> 」

## 35. &lt; = 又

小篆	隸定	楷書
𡗗	𡗗 「華山廟碑 <sup>190</sup> 」	𡗗 魏「元湛妻薛慧命墓誌 <sup>191</sup> 」

## 36. 𡗗 = 或 (付録「俗字表」184 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𡗗	𡗗 「尹宙碑」	𡗗 「白石神君碑 <sup>192</sup> 」	𡗗 (域) 魏「元始和墓誌 <sup>193</sup> 」

## 37. 𡗗 = 舛 (付録「俗字表」185参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𡗗	𡗗 (舜) 「費鳳碑 <sup>194</sup> 」	𡗗 (舜) 「学師宋恩等題 <sup>195</sup> 」	𡗗 (舜) 魏「姚伯多造象 <sup>196</sup> 」

## 38. 𡗗 = 喜 (付録「俗字表」186、187参照)

小篆	隸定	楷書
𡗗	𡗗 「費鳳別碑」	𡗗 (𡗗) 「孔宙碑 <sup>197</sup> 」
		𡗗 隋「半璋墓誌」
		𡗗 「自在王菩薩經 <sup>198</sup> 」

188 『隸辨』161頁。

189 『碑別字新編』77頁。

190 『隸辨』188頁。

191 『碑別字新編』244頁。

192 『隸辨』191頁。

193 『碑別字新編』194頁。

194 『隸辨』141頁。

195 『隸辨』141頁。

196 『碑別字新編』220頁。

197 『隸辨』87頁。

198 『碑別字新編』192頁。

## (三)、混同された俗字

## 1. 备=備 (付録「俗字表」188 参照)

小篆	隸変	楷書
備	備 <small>「孔龢碑」</small> 備 <small>「韓勅碑」</small> 備 <small>「無極山碑<sup>199</sup>」</small>	備 <small>唐「大泉寺三門記<sup>200</sup>」</small>

## 2. 肩=肩 (付録「俗字表」189 参照)

## 3. 𠄎=𠄎

小篆	隸変	楷書
𠄎(揖)	𠄎 <small>「劉熊碑」</small> 𠄎 <small>「曹全碑<sup>201</sup>」</small>	𠄎 <small>(揖)「正名要録」</small>

## 4. 巳=巳 (付録「俗字表」190 参照)

小篆	隸変	楷書
巳	巳 <small>(巳)「復氏租碑<sup>202</sup>」</small> 巳 <small>(巳)「張約碑陰」</small> 巳 <small>(巳)「繁陽令楊君碑陰<sup>203</sup>」</small>	巳 <small>「黄仕強伝<sup>204</sup>」</small>

## 5. 曳=曳

小篆	隸定	楷書
曳	曳 <small>「石經魯詩殘碑」</small>	曳 <small>(曳)「發願文範本等<sup>205</sup>」</small>

## 6. 𠄎=𠄎

小篆	隸定	隸変	楷書
𠄎	𠄎 <small>「北海相景君銘」</small>	𠄎 <small>「夏承碑<sup>206</sup>」</small>	𠄎 <small>魏「元恭墓誌<sup>207</sup>」</small>

<sup>199</sup> 『隸辨』123頁。『正字通』に「備、備本字。」とある。備の字は隸定字であると考えられるが、隸書の中にこの字を見い出せない。

<sup>200</sup> 『碑別字新編』190頁。

<sup>201</sup> 『隸辨』192頁。

<sup>202</sup> 『隸辨』18頁。

<sup>203</sup> 『隸辨』119頁。

<sup>204</sup> 『敦煌俗字典』109頁。

<sup>205</sup> 『敦煌俗字典』489頁。

<sup>206</sup> 『隸辨』80頁。

<sup>207</sup> 『碑別字新編』326頁。

## 7. 𠂔=兆 (付録「俗字表」191 参照)

小篆	隸定	楷書	
	「袁良碑 <sup>208</sup> 」	「王榮墓誌 <sup>209</sup> 」	「劉通墓誌 <sup>210</sup> 」

## 8. 弌=式 (付録「俗字表」192参照)

小篆	隸定	楷書	
	「鄭固碑 <sup>211</sup> 」	「倪寬贊」	「翟惠隱墓誌 <sup>212</sup> 」

## 9. 憂=憂

小篆	隸定	隸變	
	「魯峻碑」	「武榮碑」	「衡方碑 <sup>213</sup> 」

## 10. 哉=哉


小篆	隸變	楷書	
	「夏承碑」	「曹全碑 <sup>214</sup> 」	「辭傳母讀文一本 <sup>215</sup> 」

## 11. 工=匕 (付録「俗字表」193 参照)


小篆	隸定	隸變	楷書
	「魯峻碑」	「衡方碑 <sup>216</sup> 」	「慈香造像記 <sup>217</sup> 」
			「高貞碑 <sup>218</sup> 」
			「道因法師碑 <sup>219</sup> 」

<sup>208</sup> 『隸辨』147頁。<sup>209</sup> 『碑別字新編』142頁。<sup>210</sup> 『碑別字新編』177頁。<sup>211</sup> 『隸辨』187頁。<sup>212</sup> 『碑別字新編』25頁。<sup>213</sup> 『隸辨』71頁。<sup>214</sup> 『隸辨』29頁。<sup>215</sup> 『敦煌俗字典』532頁。<sup>216</sup> 『隸辨』12頁。<sup>217</sup> 『中国書法大字典』438頁。<sup>218</sup> 『中国書法大字典』1139頁。<sup>219</sup> 『中国書法大字典』438頁。


12. 充=充 (付録「俗字表」194 参照)

小篆	隸定	楷書
	<b>充</b> 「白石神君碑 <sup>220</sup> 」	<b>无</b> 「大般涅槃經」 <b>充</b> 「太子成道經 <sup>221</sup> 」


13. 戒=戒 (付録「俗字表」195 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	<b>戒</b> 「孔龢碑」	<b>誡</b> (誡) 「逢盛碑 <sup>222</sup> 」	<b>戒</b> 隋 「梁邕墓誌 <sup>223</sup> 」 <b>戒</b> 唐虞世南 「孔子廟堂碑 <sup>224</sup> 」

14. 害(害)=害 (付録「俗字表」196 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	<b>害</b> 「袁良碑」	<b>害</b> 「桐柏廟碑 <sup>225</sup> 」	<b>害</b> 魏 「元融墓誌 <sup>226</sup> 」

15. 攴=支 (付録「俗字表」197 参照)

小篆	隸変	楷書
	<b>攴</b> 「周公礼殿記」 <b>攴</b> 「圉令趙君碑 <sup>227</sup> 」	<b>攴</b> 「太上洞玄靈宝妙經衆篇序章」 <b>數</b> (數) 「洞淵神咒經・斬鬼品 <sup>228</sup> 」

<sup>220</sup> 『隸辨』2 頁。

<sup>221</sup> 『敦煌俗字典』55 頁。

<sup>222</sup> 『隸辨』137 頁。

<sup>223</sup> 『碑別字新編』39 頁。

<sup>224</sup> 『中国書法大字典』624 頁。





<sup>225</sup> 『隸辨』136 頁。

<sup>226</sup> 『碑別字新編』116 頁。




<sup>227</sup> 『隸辨』144 頁。

<sup>228</sup> 『碑別字新編』7 頁。






## 16. 攴=攴 (付録「俗字表」197参照)

小篆	隸變	楷書
	 「華山廟碑」  「尹宙碑 <sup>229</sup> 」	 (攴)「御注金剛般若波羅蜜經宣演卷上 <sup>230</sup> 」






## 17. 舟=舟

小篆	隸定	楷書
	 「魏大饗碑 <sup>231</sup> 」	 唐「高士楊崇墓誌 <sup>232</sup> 」




## 18. 令=全

小篆	隸定	隸變	楷書
	 「曹全碑」	 「郟閣頌 <sup>233</sup> 」	 隋「宋永貴墓誌 <sup>234</sup> 」  (痊)「太玄真一本際經・聖行品 <sup>235</sup> 」

## 19. 廛=廛 (付録「俗字表」198参照)




小篆	隸定	隸變	楷書
	 「唐扶頌碑」	 「堯廟碑」  「衡方碑 <sup>236</sup> 」	 (廛)魏「郭頭墓誌 <sup>237</sup> 」

## 20. 歹=歹




小篆	隸定	楷書
	 「郟閣頌 <sup>238</sup> 」	 唐「盧承業妻李墓誌 <sup>239</sup> 」

<sup>229</sup> 『隸辨』123頁。<sup>230</sup> 『敦煌俗字典』557頁。<sup>231</sup> 『隸辨』118頁。<sup>232</sup> 『碑別字新編』30頁。<sup>233</sup> 『隸辨』46頁。<sup>234</sup> 『碑別字新編』20頁。<sup>235</sup> 『敦煌俗字典』332頁。<sup>236</sup> 『隸辨』128頁。<sup>237</sup> 『碑別字新編』11頁。<sup>238</sup> 『隸辨』42頁。<sup>239</sup> 『碑別字新編』130頁。





21. 微=微 (付録「俗字表」199参照)

小篆	隸変	楷書
	 「老子銘 <sup>240</sup> 」	 魏「安定王造象 <sup>241</sup> 」




22. 郷=郷 (付録「俗字表」200参照)

小篆	隸変
	 「韓勅両側題」  「魯峻碑陰 <sup>242</sup> 」






23. 𠂔=𠂔 (付録「俗字表」201参照)

小篆	隸定	楷書
	 「韓勅両側題 <sup>243</sup> 」	 (鬱) 魏「元儷墓誌 <sup>244</sup> 」  「御注金剛般若波羅蜜經宣演卷上 <sup>245</sup> 」

24. 来=未

小篆	隸変	楷書
	 「魏孔羨碑 <sup>246</sup> 」	 「造交龍碑像記 <sup>247</sup> 」

25. 敝=敝 (付録「俗字表」202参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 (弊)「殺阬神祠碑」	 (幣)「孔宙碑」  「史晨奏銘 <sup>248</sup> 」	 (弊) 齊「李仕芝造像 <sup>249</sup> 」

<sup>240</sup> 『隸辨』17頁。

<sup>241</sup> 『碑別字新編』238頁。

<sup>242</sup> 『隸辨』57頁。

<sup>243</sup> 『隸辨』37頁。

<sup>244</sup> 『碑別字新編』481頁。

<sup>245</sup> 『敦煌俗字典』107頁。

<sup>246</sup> 『隸辨』16頁。

<sup>247</sup> 『碑別字新編』419頁。

<sup>248</sup> 『隸辨』134頁。

<sup>249</sup> 『碑別字新編』317頁。



## 26. 蚤蚤=蚤 (付録「俗字表」203、204参照)

小篆	隸変	楷書
	 「張納功德敘 <sup>250</sup> 」	 魏「元鑽遠墓誌」  隋「□順墓誌 <sup>251</sup> 」   (祭)齊「逢哲墓誌 <sup>252</sup> 」

## 27. 匡=匡 (付録「俗字表」205 参照)

小篆	隸変	楷書
	 「曹全碑 <sup>253</sup> 」	 唐「真化寺如願律師墓誌 <sup>254</sup> 」

## 28. 𩺰=魚 (付録「俗字表」206 参照)

小篆	隸変	楷書
	 「張遷碑 <sup>255</sup> 」	 魏「元瞻墓誌 <sup>256</sup> 」

## 29. 講=講 (付録「俗字表」133 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「校官碑 <sup>257</sup> 」	 「魏孔羨碑 <sup>258</sup> 」	 魏「李憲墓誌 <sup>259</sup> 」

## 30. 且=且 付録「俗字表」207(参照)

小篆	隸変	楷書
	 「校官碑 <sup>260</sup> 」	 魏「任城文宣王太妃馮墓誌 <sup>261</sup> 」

250 『隸辨』52頁。

251 『碑別字新編』449頁。

252 『碑別字新編』178頁。

253 『隸辨』59頁。

254 『碑別字新編』21頁。

255 『隸辨』18頁。

256 『碑別字新編』188頁。

257 『隸辨』83頁。

258 『碑別字新編』36頁。

259 『碑別字新編』395頁。

260 『隸辨』143頁。

261 『碑別字新編』15頁。

31. 𦉳 = 聶

小篆	隸変	楷書
𦉳	𦉳 「楊著碑陰」 𦉳 (攝) 「周憬功勳銘 <sup>262</sup> 」	攝 (攝) 齊 「劉碑造象 <sup>263</sup> 」

32. 𠬞 = 𠬞

小篆	楷書
𠬞	𠬞 (叫) 魏 「于景墓誌 <sup>264</sup> 」

33. 𦉳 = 兼 (付録「俗字表」208参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𦉳	𦉳 「婁寿碑」	𦉳 「武榮碑 <sup>265</sup> 」	兼 (兼) 唐 「周志遠造像 <sup>266</sup> 」

34. 東 𦉳 = 東 (付録「俗字表」209、210参照)

小篆	隸定	楷書
東	東 魏 「三体石經 <sup>267</sup> 」	東 唐 「張玄弼墓誌 <sup>268</sup> 」 𦉳 (揀) 「太子成道經 <sup>269</sup> 」

35. 眞 眞 = 冥 (付録「俗字表」211参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
眞	冥 「楊統碑」	冥 「孔彪碑 <sup>270</sup> 」	眞 隋 「馬鐘墓誌 <sup>271</sup> 」 眞 「太上洞玄靈宝妙經衆篇序章 <sup>272</sup> 」

<sup>262</sup> 『隸辨』194頁。

<sup>263</sup> 『碑別字新編』452頁。

<sup>264</sup> 『碑別字新編』12頁。

<sup>265</sup> 『隸辨』79頁。

<sup>266</sup> 『碑別字新編』112頁。

<sup>267</sup> 『隸辨』101頁。

<sup>268</sup> 『碑別字新編』94頁。

<sup>269</sup> 『敦煌俗字典』187頁。

<sup>270</sup> 『隸辨』68頁。

<sup>271</sup> 『碑別字新編』112頁。

<sup>272</sup> 『敦煌俗字典』278頁。

## 36. 爾 = 爾 (付録「俗字表」212参照)

小篆	隸定	楷書
	 「孔彪碑 <sup>273</sup> 」	 隋「張濤妻礼氏墓誌 <sup>274</sup> 」

## 37. 火 = 𤇀 (付録「俗字表」213参照)

小篆	隸定	楷書
	 (𤇀)「楊統碑 <sup>275</sup> 」	 (𤇀)「正名要録 <sup>277</sup> 」
	 (然)「武榮碑 <sup>276</sup> 」	 (煮)「啓顏録 <sup>278</sup> 」

## 38. 𤇀 = 𤇀 (付録「俗字表」214参照)

小篆	隸变	楷書
	 「孔 𤇀 碑 <sup>279</sup> 」	 隋「謝岳墓誌」  隋「宮人来女田氏墓誌 <sup>280</sup> 」

## 39. 𤇀 = 易

小篆	隸变	楷書
	 「桐柏廟碑 <sup>281</sup> 」	 「受八閔齋戒文 <sup>282</sup> 」  (腸)「食療本草 <sup>283</sup> 」

273 『隸辨』85頁。

274 『碑別字新編』292頁。

275 『隸辨』128頁。

276 『隸辨』45頁。

277 『敦煌俗字典』373頁。

278 『敦煌俗字典』564頁。

279 『隸辨』181頁。

280 『碑別字新編』120頁。

281 『隸辨』58頁。

282 『敦煌俗字典』44頁。

283 『敦煌俗字典』43頁。

## 40. 𠂔 = 夭 𠂔 犬 (付録「俗字表」215、216 参照)

小篆	隸変	楷書
𠂔	𠂔 (妖)「劉寬碑」 <sup>284</sup>	妖 (妖)魏「元或墓誌」 <sup>285</sup>
𠂔	𠂔 「張納功德敘」 <sup>286</sup>	𠂔 魏「兗州刺史元弼墓誌」 𠂔 魏「元融墓誌」 <sup>287</sup>

## 41. 𠂔 = 𠂔 (付録「俗字表」217参照)

小篆	隸定	楷書
𠂔	𠂔 「老子銘」 <sup>288</sup>	𠂔 (賤)魏「皇甫驎墓誌」 <sup>289</sup> 𠂔 (淺)魏「員外散騎侍郎元思墓誌」 <sup>290</sup>

## 42. 臺 = 臺

小篆	隸定	楷書
臺	臺 「景北海碑陰」 <sup>291</sup>	臺 魏「元延明墓誌銘」 <sup>292</sup>

## 43. 𠂔 = 工 (付録「俗字表」218 参照)






小篆	隸定	楷書
𠂔	𠂔 「鄭固碑」 <sup>293</sup>	𠂔 魏「元欽墓誌」 <sup>294</sup>

## 44. 𠂔 = 庶 (付録「俗字表」219 参照)





小篆	隸変	楷書
𠂔	𠂔 「楊統碑」 <sup>295</sup>	𠂔 魏「王偃墓誌」 𠂔 宋「爨龍顏碑」 <sup>296</sup>

<sup>284</sup> 『隸辨』58頁。<sup>285</sup> 『碑別字新編』34頁。<sup>286</sup> 『隸辨』172頁。<sup>287</sup> 『碑別字新編』101頁。<sup>288</sup> 『隸辨』102頁。<sup>289</sup> 『碑別字新編』337頁。<sup>290</sup> 『碑別字新編』173頁。<sup>291</sup> 『隸辨』29頁。<sup>292</sup> 『碑別字新編』300頁。<sup>293</sup> 『隸辨』54頁。<sup>294</sup> 『碑別字新編』118頁。<sup>295</sup> 『隸辨』128頁。<sup>296</sup> 『碑別字新編』156頁。




## 45. 鹿=鹿 (付録「俗字表」220 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 (鹿)「費鳳碑」	 「雲臺碑 <sup>297</sup> 」	 齊「李琮墓誌 <sup>298</sup> 」  「隸古定尚書 <sup>299</sup> 」






## 46. 卯=卯 (付録「俗字表」221 参照)

小篆	隸変	楷書
	 「華山亭碑 <sup>300</sup> 」	 魏「米舍分造像 <sup>301</sup> 」  唐「姜行本碑 <sup>302</sup> 」

## 47. 死=死 (付録「俗字表」222 参照)

小篆	隸定	楷書
	 (死)「蔡湛碑 <sup>303</sup> 」	 (死)隋「范安貴墓誌 <sup>304</sup> 」

## 48. 濯=濯 (付録「俗字表」223 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「魯峻碑」	 「孫叔敖碑 <sup>305</sup> 」	 魏「元願平妻王氏墓誌 <sup>306</sup> 」  (觀)「妙法蓮花經・觀世音顯聖図 <sup>307</sup> 」

297 『隸辨』160 頁。

298 『碑別字新編』188 頁。

299 『敦煌俗字典』256 頁。

300 『隸辨』105 頁。

301 『碑別字新編』11 頁。

302 『碑別字新編』12 頁。

303 『隸辨』105 頁。

304 『碑別字新編』214 頁。

305 『隸辨』144 頁。

306 『碑別字新編』453 頁。

307 『敦煌俗字典』138 頁。

49. 冗=尢 (付録「俗字表」224 参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	「桐柏廟碑 <sup>308</sup> 」	「無極山碑 <sup>309</sup> 」 「白石神君碑 <sup>310</sup> 」	隋智永「千字文 <sup>311</sup> 」

50. 覃=覃 (付録「俗字表」225参照)

小篆	隸定	楷書
	(譚) 「樊敏碑 <sup>312</sup> 」	魏「元夫人陸孟輝墓誌 <sup>313</sup> 」

51. 威=威 (付録「俗字表」226 参照)

小篆	隸変	楷書
	「衡方碑 <sup>314</sup> 」	「楊吳天祐十二年殘墓誌 <sup>315</sup> 」

52. 卒=卒 (付録「俗字表」227 参照)

小篆	隸変	楷書
	「孔龢碑」  「郭仲奇碑 <sup>316</sup> 」	(醉) 「仏説生經」  (醉) 「賢愚經 <sup>317</sup> 」

53. 伯=伯 (付録「俗字表」228 参照)

小篆	隸定	楷書
	「天井道頌 <sup>318</sup> 」	(伯) 「傷寒論・辨脈 <sup>319</sup> 」

<sup>308</sup> 『隸辨』76頁。

<sup>309</sup> 『隸辨』78頁。

<sup>310</sup> 『隸辨』76頁。

<sup>311</sup> 『王羲之書法字典』358頁。

<sup>312</sup> 『隸辨』78頁。

<sup>313</sup> 『碑別字新編』225頁。

<sup>314</sup> 『隸辨』18頁。

<sup>315</sup> 『碑別字新編』86頁。




<sup>316</sup> 『隸辨』170頁。

<sup>317</sup> 『敦煌俗字典』578頁。





<sup>318</sup> 『隸辨』159頁。

<sup>319</sup> 『敦煌俗字典』449頁。





## 54. 伯=田 (付録「俗字表」229 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「劉衡碑 <sup>320</sup> 」	 隋「蕭翹墓誌銘 <sup>321</sup> 」




## 55. 奮=奮

小篆	隸變	楷書
	 「唐扶頌 <sup>322</sup> 」	 魏「呂望表」  隋「王世琛墓誌 <sup>323</sup> 」




## 56. 吠=呬 (付録「俗字表」230 参照)

小篆	隸定	隸變	楷書
	 「鄭固碑」	 「侯成碑 <sup>324</sup> 」	 唐「嗣曹王李戢墓誌 <sup>325</sup> 」

## 57. 曄=憲 (付録「俗字表」231 参照)

小篆	隸變	楷書
	 「夏承碑 <sup>326</sup> 」	 隋「故宋永貴墓誌銘 <sup>327</sup> 」

## 58. 弟=弟 (付録「俗字表」232 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「夏承碑 <sup>328</sup> 」	 (悌) 隋「主簿張濬墓誌 <sup>329</sup> 」

320 『隸辨』74 頁。

321 『碑別字新編』241 頁。

322 『隸辨』141 頁。

323 『碑別字新編』346 頁。

324 『隸辨』160 頁。

325 『碑別字新編』114 頁。

326 『隸辨』142 頁。

327 『碑別字新編』159 頁。

328 『隸辨』132 頁。

329 『碑別字新編』121 頁。

59. 才=木 (付録「俗字表」233 参照)

小篆	隸定	楷書
	「郟閣頌 <sup>330</sup> 」	(横) 魏「元彦墓誌 <sup>331</sup> 」
	「夏承碑 <sup>332</sup> 」	(機) 魏「南石窟寺碑 <sup>333</sup> 」

60. 刃=丑 (付録「俗字表」234 参照)

小篆	隸定	楷書
	「司空殘碑 <sup>334</sup> 」	唐「鄭恕己墓誌 <sup>335</sup> 」

61. 芻=芻 (付録「俗字表」235 参照)

小篆	隸定	楷書
	「校官碑 <sup>336</sup> 」	(趨) 唐「盧承業墓誌 <sup>337</sup> 」

62. 卓=卓

小篆	隸定	楷書
	「衡方碑 <sup>338</sup> 」	北魏「張猛龍碑 <sup>339</sup> 」  「食療本草 <sup>340</sup> 」

63. 糸=臬

小篆	隸定	隸変	楷書
	「度尚碑」	「張平子碑」  「苑鎮碑 <sup>341</sup> 」	(燥) 晋「徐義墓誌 <sup>342</sup> 」

64. 角=月

<sup>330</sup> 『隸辨』62頁。

<sup>331</sup> 『碑別字新編』354頁。

<sup>332</sup> 『隸辨』18頁。

<sup>333</sup> 『碑別字新編』354頁。

<sup>334</sup> 『隸辨』73頁。

<sup>335</sup> 『碑別字新編』179頁。

<sup>336</sup> 『隸辨』22頁。

<sup>337</sup> 『碑別字新編』397頁。

<sup>338</sup> 『隸辨』47頁。

<sup>339</sup> 『中国書法大字典』頁。

<sup>340</sup> 『敦煌俗字典』123頁。

<sup>341</sup> 『隸辨』106頁。

<sup>342</sup> 『碑別字新編』383頁。



## 65. 暴 = 暴 (付録「俗字表」236参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「校官碑」	 「張納功德敘 <sup>343</sup> 」	 「詩經 <sup>344</sup> 」  (異)「雙恩記 <sup>345</sup> 」

## 66. 又 = 𠂔 (付録「俗字表」237、238、239 参照)

小篆	隸定	楷書
	 「魏大饗碑 <sup>346</sup> 」	 魏「呂望表 <sup>347</sup> 」
	 「鄭固碑 <sup>348</sup> 」	 唐「明州刺史章墳墓誌 <sup>349</sup> 」

## 67. 詹 = 詹 (付録「俗字表」240参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 (詹)「高彪碑」	 「穀阬碑陰 <sup>350</sup> 」	 (詹)魏「鄭道忠墓誌 <sup>351</sup> 」

## 68. 爽 = 爽 = 爽

小篆	隸定	楷書
	 「孔彪碑 <sup>352</sup> 」	 隋「杜乾緒造像 <sup>353</sup> 」  「隸古定尚書」  (驥)「正名要録 <sup>354</sup> 」

343 『隸辨』149頁。

344 『敦煌俗字典』12頁。

345 『敦煌俗字典』496頁。

346 『隸辨』51頁。

347 『碑別字新編』72頁。

348 『隸辨』5頁。

349 『碑別字新編』4頁。

350 『隸辨』79頁。





351 『碑別字新編』355頁。

352 『隸辨』109頁。





353 『碑別字新編』174頁。

354 『敦煌俗字典』379頁。





69. 獵=獵 (付録「俗字表」241参照)

小篆	楷書		
	 (獵)魏「元徽墓誌」 <sup>355</sup>	 唐「處士王顧墓誌」 <sup>356</sup>	 「正名要録」 <sup>357</sup>





70. 方=弓 (付録「俗字表」242参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 (張)「孔宙碑」 <sup>358</sup>	 (弭)「白石神君碑」 <sup>359</sup>	 (彊)「法句經」 <sup>360</sup>

71. 或=或 (付録「俗字表」243参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「尹宙碑」	 「白石神君碑」 <sup>361</sup>	 隋「張佖墓誌」 <sup>362</sup>

72. 刀=力 (付録「俗字表」244参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
	 「武榮碑」 <sup>363</sup>	 「衡方碑」 <sup>364</sup>	 (協)「正名要録」 <sup>365</sup>

(四)、同化された俗字

1. 𦉳=桀 (付録「俗字表」245参照)

<sup>355</sup> 『碑別字新編』409頁。  
<sup>356</sup> 『碑別字新編』410頁。  
<sup>357</sup> 『敦煌俗字典』247頁。  
<sup>358</sup> 『隸辨』58頁。  
<sup>359</sup> 『隸辨』84頁。  
<sup>360</sup> 『敦煌俗字典』321頁。  
<sup>361</sup> 『隸辨』191頁。  
<sup>362</sup> 『碑別字新編』62頁。  
<sup>363</sup> 『隸辨』3頁。  
<sup>364</sup> 『隸辨』3頁。  
<sup>365</sup> 『敦煌俗字典』455頁。

2. 顛=顛

小篆	隸定	隸変	楷書
顛	顛 「石經論語殘碑」	顛 「鄭固碑 <sup>366</sup> 」	顛 唐 「圭峰禪師碑 <sup>367</sup> 」

3. 𧇗=𧇗 (付録「俗字表」246参照)

小篆	楷書		
𧇗	𧇗 (讒) 齊 「朱岱林墓誌 <sup>368</sup> 」	𧇗 (讒) 「大木乾連冥間救母変文」	
	𧇗 (𧇗) 「発願文範本等」	𧇗 (饒) 「碎金 <sup>369</sup> 」	

(五)、位置が移動した俗字

1. 京=京

小篆	隸変	楷書
京	京 「韓勅碑」 京 「華山廟碑 <sup>370</sup> 」	京 魏 「高道悦墓誌 <sup>371</sup> 」

2. 烏=烏 (付録「俗字表」247参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
烏	烏 「鄭固碑」	烏 「綏民校尉熊君碑 <sup>372</sup> 」	烏 「仏説観仏三昧海経」 烏 「語対 <sup>373</sup> 」
			烏 宋蘇軾 「赤壁賦」

3. 缶=缶 (付録「俗字表」248参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
缶	缶 「華山廟碑 <sup>374</sup> 」	缶 「劉熊碑 <sup>375</sup> 」	缶 魏 「広陽王妃墓誌 <sup>376</sup> 」

<sup>366</sup> 『隸辨』44頁。

<sup>367</sup> 『碑別字新編』439頁。

<sup>368</sup> 『碑別字新編』12頁。

<sup>369</sup> 『敦煌俗字典』41頁。

<sup>370</sup> 『隸辨』63頁。

<sup>371</sup> 『碑別字新編』47頁。

<sup>372</sup> 『隸辨』24頁。

<sup>373</sup> 『敦煌俗字典』428頁。

<sup>374</sup> 『隸辨』50頁。

<sup>375</sup> 『隸辨』49頁。

<sup>376</sup> 『碑別字新編』28頁。

## 4. 𠂔 = 矢 (付録「俗字表」249参照)

小篆	隸定	隸変	楷書
𠂔	𠂔 「張遷碑」	𠂔 「韓勅碑 <sup>377</sup> 」	𠂔 魏「元暉墓誌 <sup>378</sup> 」

## 5. 哀 = 哀

小篆	隸定	楷書
哀	哀 「孔彪碑 <sup>379</sup> 」	哀 唐「黄君夫人劉氏龕銘 <sup>380</sup> 」

## 6. 𠂔 = 𠂔 (付録「俗字表」250参照)

小篆	隸変	楷書
𠂔	𠂔 「白石神君碑 <sup>381</sup> 」	𠂔 (猶)隋「房山華嚴經 <sup>382</sup> 」

## 二、各項の解説

## (一)、簡略化された俗字

- 『萬象名義』所出の環・還などは、𠂔の旁を𠂔に作る。この字形は齊「比丘法朗造象」の還に見られる。𠂔は隸変の時に「孔彪碑」のように中間の二画が省かれ、また口の旁が遠の俗字と等しくなる<sup>383</sup>。その後さらに中間の横一画が省かれる。
- 『萬象名義』所出の𠂔・賓などは、賓の旁を𠂔に作る。この字形は魏「司馬昇墓誌」の賓と等しい。隸変字には「西狹頌」に見るように、すでに𠂔の字形が存在する。後に眉の旁が眉に変化する。この変化は眉の隸変と同一である<sup>384</sup>。
- 『萬象名義』所出の𠂔・典などは、典の旁を𠂔に作る。この字形は隋「寇遵考墓誌」の𠂔に見られる。隸変字においてこの字形はまだ現れない。よってこれは楷書の簡略化された俗字であると考えられる。
- 『萬象名義』所出の惱・嫵などは、𠂔の旁を𠂔に作る。この字形は『御注金剛般若波羅

<sup>377</sup> 『隸辨』11頁。

<sup>378</sup> 『碑別字新編』71頁。

<sup>379</sup> 『隸辨』29頁。

<sup>380</sup> 『敦煌俗字典』82頁。

<sup>381</sup> 『隸辨』72頁。

<sup>382</sup> 『碑別字新編』214頁。

<sup>383</sup> 【大柴2008: 61、87】を参照。

<sup>384</sup> 【大柴2008: 53、82】を参照。

蜜經宣演卷上』における **惱** (惱) <sup>385</sup>と一致する。また『萬象名義』所出の **𢀿** (𢀿 6.19 オ)は『太玄真一本際經・聖行品』の **𢀿** (惱) <sup>386</sup>の字と一致する。惱の字は『説文解字』にはなく、上の兩字は共に唐代に作られた楷書の簡略化された俗字である。

5. 『萬象名義』は **𢀿** (𢀿 2.42 ウ)と **𢀿** (𢀿 6.35 オ)の字を有し、岡の旁が罝に変化する。隸変字において「仲定碑」の鋼の字のようにすでに罝が出現する。罝は後に唐「劉玄豹夫人高氏墓誌」の岡の字のように正の旁が止に変化して罝となる。

6. 『萬象名義』所出の𢀿・𢀿などは、𢀿の旁を𢀿に作る。この字形は隸変字に見られず、

『正名要録』の **𢀿** (𢀿) <sup>387</sup>と一致する。『字彙』は「𢀿、従品従𢀿。俗省作二口。」と云う。

7. 『萬象名義』所出の𢀿・𢀿などは、乏の旁を之に作る。この字形は「雙恩記」における **𢀿** (乏) <sup>388</sup>と同一である。隸書の乏の字は **𢀿** (「孫叔敖碑」、**𢀿** (「魏受禪表」)などに作り、共に上部に撇いを有する。乏の字は隸定の後、この撇いが省略されたと考えられる。

8. 『萬象名義』所出の烟・姻などは、因の旁を回に作る。この字形は「孝文帝吊比干文」の因の字に見られる。因は隸變の時に「尹宙碑」のように中間の大的字が工に変化し、魏の時代にさらに𠃉の形に変化したと考えられる。

9. 『萬象名義』所出の嬌・嬌などは、喬の旁を喬に作る。顧藹吉は「『説文』作橋、從夭折之夭。碑變從犬或從ナ<sup>389</sup>。」と云う。喬は隸變の時に 夭の旁における横一画の末尾が「三公山碑」の喬のように湾曲する。この字形は魏の時代に至って、一方では「華嶽廟碑」の喬のように犬に変化し、また他方では「吳郡王蕭正表墓誌」の喬のように大的字に変化した。

10. 『萬象名義』所出の啞・啞などは、亞の旁を亞に作る。この字形は「王誦墓誌」の亞のように魏の時代における楷書の俗字であると考えられる。顧藹吉は「『説文』作亞。諸碑中皆加畫。」と云う。亞は隸變の時に中心に横一画が加わり、その後それがまた省かれ、さらに上部の横一画の両端が短くなった。

<sup>385</sup> 『敦煌俗字典』286頁。

<sup>386</sup> 『敦煌俗字典』286頁。

<sup>387</sup> 『敦煌俗字典』527頁。

<sup>388</sup> 『敦煌俗字典』107頁。

<sup>389</sup> 『隸辨』50頁。

11. 『萬象名義』は **寬**(寬 1.63 才) と **𡗗**(𡗗 2.74 才)の字を有し、寬の旁を𡗗に作る。これはおそらく唐代に形成された字形であると思われる。寬の字は隸定の後に「石經論語殘碑」の寬のように卅の部分における二本の横の画が繋がって一画となる。また「楊震碑」の寬のように卅の縦二画が一画に変化する。後に見の旁における横一画が省かれて𡗗となった。

12. 『萬象名義』所出の𡗗・𡗗などは、害の旁を言に作る。害の字は言に変化した後、工の部分省かれて言となったと考えられる。『萬象名義』は **𡗗**(𡗗 5.66 ウ)の字を有する。舌の部分が一画を闕く。これはおそらく高山寺本の書写人の誤写である。

13. 『萬象名義』は **𡗗**(𡗗 1.22 才)の字を有し、古の旁の字形は魏「于祚妻和仁墓誌」の故の字 **𡗗** と等しい<sup>390</sup>。隸書においてこの字形は見られず、おそらく楷書の段階で簡略化されたと考えられる。

14. 『萬象名義』所出の乞・𡗗などは、乞の旁を乞に作る。乞の字は隸変のときに「樊敏碑」の乞のように上部が上の形に変わる。その後、北魏「張猛龍碑」の乾のように上の旁がその下の乙の旁と重なって乞となった。

15. 『萬象名義』所出の𡗗・𡗗などは、西の旁を𡗗に作る。この字形は「仏説八師經」の𡗗の字に窺える。西の字は隸変の時に中間が横二画と縦二画に変化し、その後さらに縦二画が短くなってその下が目の字となった。

16. 『萬象名義』は **𡗗**(𡗗 1.56 才)の字を有す。舟の旁は隸定されて月となって後、魏の時代に至って「元顛墓誌」の舟のように上部の一画が省かれ、また魏「馬都愛造像」の舟のように中間の横一画が左右に突き出る。よってこの字は楷書の簡略化され、また複雑化された俗字である。

17. 『萬象名義』所出の唐・𡗗などは、唐の旁を𡗗に作る。唐の字は隸定の後に上部の一画が中間まで移動し、さらに後に省かれる。また中央の横一画も左右が短くなる。


18. 『萬象名義』所出の𡗗・𡗗などは、鬼の旁を𡗗に作る。この字形は「仏説生經」の𡗗の字に見られる。鬼の字は隸変して𡗗となった後、𡗗の部分省かれた。

19. 『萬象名義』所出の𡗗・𡗗などは、上部の夕の旁を𡗗に作る。この字形は隸変字には見られず、魏「元融墓誌」の𡗗の字に窺える。よってこの字は楷書の簡略化された俗字であると考えられる。

20. 『萬象名義』所出の歸・𡗗などは、歸の字を𡗗に作る。この字形は「老子道經」に見


<sup>390</sup> 『碑別字新編』91頁。



られる。歸の字は隸変の時に、皇の上部の一画が省かれる。その後、止の部分がさらに省

略される。『萬象名義』はまた  (歸 4.38 才) の字を有する。この皇の部分は魏「寇霄墓誌」の字形と等しい。

21. 『萬象名義』所出の渡・渡などは、度の旁を度にする。この字形は唐「李戡妃鄭氏墓誌」の度の字に窺える。顧藹吉は「魯峻碑」の項において「按、碑復変從夂。『干祿字書』云度俗度字<sup>391</sup>。」と云う。よって度の字は隸変の時に又の部分がすでに夂字に変わったことが知られる。その後、廿の部分の中間がさらに省かれた。

22. 『萬象名義』所出の豫・像などは、象の旁を象にする。この字形は隋「龍山公墓誌」の象の字と同一である。象の字は隸変の時に、「郟閣頌」のように中間の一画が増える。その後、上部のノの部分に分け開かれる。この変化は召の字の変化とよく似る<sup>392</sup>。よってこの字は隸変で複雑化され、楷書で簡略化された俗字である。



23. 『萬象名義』は  (𧯛 5.55 才) の字を有する。この字形は魏「元寿安墓誌」の惡の字に窺える。惡の字は隸変の時に数種の複雑化された俗字を生み出した。この字形はおそらくその中で「西狹間頌」の惡の字に由来するものであり、上部の一の旁が省かれて作られたと考えられる。

24. 『萬象名義』は  (𧯛 5.145 才) と  (𧯛 6.55 才) の字を有し、𧯛の旁を𧯛にする。『集韻』は「糾、或作𧯛。」と云い、また『直音』は「𧯛、同𧯛。」と云う。𧯛の旁は𧯛に変化した後、さらに一画が省かれて𧯛となった。この字形は唐代の「兔園策府」の𧯛の字に窺える。

25. 『萬象名義』所出の黓・黓などは、黒の旁を里にする。この字形は齊「李琮墓誌」の黨の字に窺える。黒の字は隸変の後に烈火の四点が省かれた。

26. 『萬象名義』所出の鞫・鞫などは、革の旁を革にする。この字形は隋智永「千字文」の鞫の字に見られる。顧藹吉は「按、碑復変從艸。」と云う。革の字は隸変の時に草冠に変わった後、さらに北魏「鞠彦雲墓誌」の鞫のように中間が口に変わった。その後、草冠がさらに簡略化された。

27. 『萬象名義』所出の軫・軫などは、軫の旁を尔にする。この字形は魏「根法師碑」の軫の字に窺える。顧氏はまた「按、從軫之字諸碑或変作尔、如珍為珍、軫為軫之類甚多<sup>393</sup>。」と云う。軫の旁は隸変の時に尔となり、その後さらに尔となった。


28. 『萬象名義』は  (𧯛 1.60 才) と  (𧯛 2.43 才) の字を有する。この字形は魏「李

<sup>391</sup> 『隸辨』130頁。


<sup>392</sup> (一)、簡略化された俗字、45.𧯛=召参照。

<sup>393</sup> 『隸辨』78頁。

超墓誌」の臺の字に見られる。臺の字は隸定の後に口の部分が省かれた。


29. 『萬象名義』は  (晷 5.122 ウ)の字を有し、人の部分を一点に作る。この字形は魏「李超墓誌」や唐「嗣曹李戢墓誌」の咎の字に窺える。人の部分は隸変の時にトの字にかわり、その後さらに一点に変わった。

30. 『萬象名義』所出の埏・誕などは、正の部分を𠂔に作る。この字形は魏「劉洛真造象」の延の字に見られる。延の字は隸変の時に延繞(𠂔)が之繞(𠂔)に変わった。顧藹吉は「曹全碑」の項において「按、『説文』延從廾。廾與引同。碑變從𠂔<sup>しんにょう</sup>」<sup>394</sup>。」と云う。魏の時代に至って正の部分はさらに𠂔となった。

31. 『萬象名義』は  (嬰 1.75 オ)の字を有する。この字形は唐「亡妻李氏墓誌」の嬰の字に見られる。嬰の字は隸変の時に嬰の部分における底部の二画が省かれ、その後残った二画も省かれた。

32. 『萬象名義』所出の覩・睨などは、臼の部分に旧に作る。この字形は魏「高貞碑」の舊の字に見られる。舊の字は隸変の後に臼の部分縦一画と日の字に変わった。

33. 『萬象名義』所出の邂・解などは、解の字を解に作る。この字形は「解伯達造像」の解の字に窺える。解の字は隸定の後に刀の部分がフの形となり、牛の部分の第一画が省かれて丰の形となった。この字形は魏の時代にすでに出現し、草書の筆勢に影響を与えたとされる。

34. 『萬象名義』は  (𧇧 6.46 オ)の字を有する。この虎の字形は魏「韓震墓誌陰」の虎の字と同一である。

35. 『萬象名義』所出の坻・低などは、氐の旁を互に作る。この字形は齊「宋買造象」の低の字に見られる。氐の字は隸定の後、底部の横一画以外が皆繋げられて一画となった。

36. 『萬象名義』所出の𧇧・𧇧などは、董の旁を莖に作る。この字形は魏「高宗嬪耿寿姫墓誌」の謹の字に窺える。董の字は隸変の時に甘の部分が草冠に変わる。その後中間の横一画が省かれて口の形となった。また『萬象名義』所出の堽・鄞などは、董の字を莖に作る。甘の部分は草冠に変わった後、更にㄩとなり、中間の横一画は同じく省かれて口の形となった。

37. 『萬象名義』所出の曠・𧇧などは、莫の旁を莫に作る。この字形は魏「王基墓誌」の難の字に見られる。莫の字は隸変の時に甘の部分が草冠に変わり、小篆における火の部分と土の部分が結合して夫の形になった。その後中間の一画が省かれて口の形となり、下部は天の形となった。『萬象名義』所出の難・漢などは、莫の旁を莫に作る。この字形は「太子瑞応本起経」の難の字に窺える。莫の字は隸変の時に甘の部分がㄩに変わり、その他の部分は莫と同様に变化した。

<sup>394</sup> 『隸辨』45頁。



38. 『萬象名義』は **𧇗** (𧇗 1.52 オ)と **𧇘** (𧇘 6.90 ウ)の字を有し、悉の旁を𧇗に作る。この字形は唐「大達法師塔銘」の悉の字に見られる。悉の字は隸変の後に米の部分における下部の二画が横一画に変化した。
39. 『萬象名義』所出の屢・𧇙などは、婁の旁を𧇗に作る。この字形は「大目乾連冥間救母変文」の𧇙の字に窺える。婁の字は隸変の時に上部が虫の形に変化した。『萬象名義』所出の字は中間がさらに簡略化されて口の形となる。この字形は隸書および楷書の俗字の中に見出だせず、高山寺本の書写人の誤写かもしれない。
40. 壽の字は隸変の後に中間の一の部分が省かれる。『萬象名義』所出の禱、壽などは更に一点を加える。この字形は隸書および楷書の俗字の中には見出だせない。

41. 『萬象名義』は **𧇚** (𧇚 1.51 ウ)と **𧇛** (𧇛 1.52 オ)の字を有する。この字形は「集字聖教序」の庸の字に窺える。庸の字は隸変の時に「樊安碑」に見るように上部の横一画が一点に変わる。その後、𧇛の部分の𧇛の形に変化した。

42. 『萬象名義』は **𧇜** (𧇜 1.56 ウ)と **𧇝** (𧇝 1.83 オ)の字を有する。この字形は唐「大泉寺三門記」の桑の字と同一である。桑の字は隸定の後、𧇝の部分土と㇇に変化した。

また『説文』の桑の項において、「𧇜、蠶所食葉木。从叒木。」とある。睡虎地「日乙 67」

の桑の字は **𧇜**<sup>395</sup>に作り、上部は𧇜に従う。「華山廟碑」の桑の字は簡略化されて **𧇜**となる。両者とも又の字に従わない。よって原本『説文』の桑の字は𧇜と木に従っていたと思われる。

43. 『萬象名義』は **𧇞** (𧇞 1.55 オ)と **𧇟** (𧇟 5.137 ウ)の字を有し、龜の字を𧇞に作る。この字形は隋「程諧墓誌」の龜の字に窺える。

44. 『萬象名義』所出の𧇠・𧇡などは、辰の旁を𧇠に作る。この字形は隋「千字文」の𧇠の字に見られる。辰の字は隸変の時に、中間に一画が加えられて工の形になり、その後この工の形が𧇠の形に変わった。

45. 『萬象名義』所出の招・𧇢などは、召の字を𧇢に作る。この字形は北魏「鄭道昭鄭文公下碑」の招の字と同一である。招の字は隸変の時に𧇢の部分𧇢の形の如くに変化し、その後さらに𧇢の形となった。

46. 『萬象名義』は **𧇣** (𧇣 2.58 ウ)の字を有し、𧇣の旁を𧇣に作る。この字形は漢「孝

<sup>395</sup> 『睡虎地秦簡文字編』91頁。

女曹娥碑」の趨の字と相い似る。また『萬象名義』は𠄎(嚮 1.65 才)と𠄎(縉 6.137 才)の字を有し、𠄎の旁を𠄎に作る。この字形は魏「元子正墓誌」の𠄎の字に見られる。

47. 『萬象名義』猴・鯨などは、侯の字を侯に作る。この字形は「隸古定尚書」の侯の字に窺える。侯の字は隸定の後に左方が人偏に変化し、フの部分がノに変化した。この変化は𠄎の字から伯の字への変化と同様である<sup>396</sup>。

48. 『萬象名義』は𠄎(贍 2.65 才)と𠄎(檐 2.84 ウ)の字を有し、詹の旁を詹に作る。この字形は魏「貴華恭夫人墓誌」の贍の字と相い似る。詹の字は隸変の時に言の字が舌となった。顧藹吉は「按、『説文』作詹、下従言。碑変作舌。今俗因之<sup>397</sup>。」と云う。その後吉はさらに一画が省かれた。

49. 『萬象名義』所出の安・郊などは、安の字を安に作る。この字形は唐「彭城劉氏幼子墓誌」の安の字と同一である。この字形は魏「元羽墓誌」の𠄎の字にすでに現れる。また

『萬象名義』は𠄎(宴 1.53 才)の字を有する。この字形は唐「龐徳威墓誌」の𠄎<sup>398</sup> (宴)

と同一である。宴の字は隸変の時に「東海廟碑」の𠄎<sup>399</sup> (宴)のように女の字が安の字に変わった。顧藹吉は「『五經文字』云、宴字『字林』作宴<sup>400</sup>。」と云う。

50. 𠄎の字は隸変の時に女の旁が安の字に変わった。安の字はその後さらに簡略化されて魏「元羽墓誌」の𠄎のように安となった。故に𠄎(𠄎 3.32 ウ)の字は隸書において混同さ

れ、楷書において簡略化された俗字である。𠄎(𠄎 1.44 才)の字は中間にハの字形が足されている。これはおそらく高山寺本の誤写であると思われる。

𠄎の字にははこがまえの上部の横一画が隔離され、残る𠄎の部分がかまた𠄎の形に変化した。

故に𠄎(𠄎 6.26 才)、𠄎(𠄎 6.86 ウ)、𠄎(𠄎 6.150 ウ)は隸書において混同され、楷書において簡略化された俗字である。

𠄎の字の中にははこがまえの上部の横一画がその下の日の字と結合して魏「元羽墓誌」

の𠄎のように𠄎の字となる。一方『萬象名義』所出の𠄎(𠄎 1.68 才)は𠄎に従う。おそら

<sup>396</sup> (三)、混同された俗字、53.伯=𠄎を参照。

<sup>397</sup> 『隸辨』79頁。

<sup>398</sup> 『碑別字新編』116頁

<sup>399</sup> 『隸辨』146頁。

<sup>400</sup> 『隸辨』146頁。

くこれは高山寺本の誤写であろう。また **𡗗** (偃 1.57 ウ) と **𡗗** (鯁 6.76 ウ) は更に上部の横一画を省略する。これも高山寺本の誤写であろう。

51. 『萬象名義』所出の繞・磽などは、堯の字を堯に作る。この字形は魏「元寧墓誌」の堯の字と同一である。堯の字は隸変の時に並列した二つの土の字が「衡方碑」や「魏上尊號奏」の堯のように草冠の形に変化し、その後、その横一画がさらに省かれた。

52. 『萬象名義』所出の攜・攜などは、攜の字を攜に作る。攜の字は隸変の時に「造橋碑」のごとく上部の山の字が省かれる。その後、隹の部分がさらに隹に変化した。故に当該字と同一の例は見られないが、攜の字は隸書において簡略化され、楷書に於いてさらに簡略化された俗字であると考えられる。

53. 『萬象名義』は **𡗗** (鼎 1.23 ウ) の字を有する。この字形は魏「司空公元瞻墓誌」の鼎の字と等しい。鼎の字は隸変の後、目の部分が日の字に変化し、𡗗の形が斤の俗字に変化し<sup>401</sup>、𡗗の部分に一画が加えられた。

54. 『萬象名義』所出の屢・屢などは、婁の字を婁に作る。この字形は魏「王紹墓誌」の數の字に見られる。婁の字は隸変の時に上部が簡略化されて虫の形となり、下部は安の字に変化した。その後、安の字は更に簡略化されて𡗗となった。

## (二)、複雑化された俗字

1. 『萬象名義』所出の倭・倭などは、倭の旁における儿の部分に北に作る。この字形は隋

「盧文構墓誌」の **𡗗** (陵) <sup>402</sup> と同一である。現在使用している陵の字と隸変した陵の字を比較した場合、現在の通用字の方が陵の小篆である𡗗と字形が近い。しかしこの陵の字

は唐宋の時代になってようやく生まれた字である。顔真卿「裴將軍詩」の **𡗗** <sup>403</sup> がその一例である。

2. 『萬象名義』所出の𡗗・𡗗などは、亡の字を𡗗に作る。此の字形は隸変字の中には見られず、「廬山遠公話」の亡の字と一致する。よって𡗗の字は唐代に作られた楷書の複雑化された俗字であると考えられる。

3. 『萬象名義』は **𡗗** (休 2.19 オ) の字を有する。休の字形は魏「司馬𡗗墓誌」 **𡗗** (休) <sup>404</sup> と一致する。休の字は隸変の時に一点が加わって休となる。その後おそらく魏の時に木の旁の底部に横一画が加わって𡗗となる。この字は隸書において複雑化あるいは混同され、

<sup>401</sup> (二)、複雑化された俗字、28.斤=斤参照。

<sup>402</sup> 『碑別字新編』187頁。

<sup>403</sup> 『中国書法大字典』中外出版社、1466頁。

<sup>404</sup> 『碑別字新編』19頁。

そして楷書において複雑化された俗字である。

4. 『萬象名義』所出の參・參などは、參の字を叅に作る。此の字形は北魏「李超墓誌」の參の字に窺える。參は隸変の時に今の部分が尪に変化し、その後さらに一点が加わった。『広韻』は「參、或作叅。」と云う。叅の下部の小は、恭や忝などと字形を等しくする。『萬象名義』の当該字は小を氷の形に作る。此の字形は高山寺本の書写人の筆勢と思われ、誤写に含まれる。

5. 『萬象名義』所出の膠・膠などは、尪の旁を尪に作る。この字形は前項所出の參の字における尪の変化と一致する。尪の部分が尪に変化した後、魏「巨始光造像」の膠のように更に一点が加わった。その後、隋「楊秀墓誌」の膠のような字形となった。

6. 『萬象名義』所出の驕・僑などは、喬の旁を高に作る。この字形は「元道墓誌」の橋の字に窺える。喬の字は隸変の時に高となり、その後さらに変化して高となった。高と喬は右と有の部分が異なる。音韻学的に見れば、右と有は共に喻三母の有韻に属する。文字学の立場から見れば、この字形変化は高の字の高の字への変化とよく似る。

7. 『萬象名義』所出の佻・兆などは、兆の字を非に作る。この字形は唐「孫公亡夫人李氏墓誌」の兆の字と一致する。兆の字は地に変化した後、隋「閔明墓誌」のように中間に撇いの一画が増える。その後さらに変化して非となった。

8. 『萬象名義』は𠂔(欲 1.56 オ)と𠂔(慾 1.56 ウ)の字を有し、谷の部分をもに作る。此の字形は隋「劉相墓誌」の俗の字に窺える。谷の部分は隸定の後、「北海相景君銘」のように中間の短い横二画が繋がって一画となる。その後、隋のころさらに一画が加わって𠂔となった。




9. 『萬象名義』は𦉳(索 2.31 オ)と𦉳(鞞 6.123 オ)の字を有する。索の字は隸変の時に「無極山碑」と「王純碑陰」のように上部の横一画が分割されて左右の二画となる。その後さらに一画が増えて魏「趙阿歆造象」のように索となる。

10. 『萬象名義』は𠂔(夙 1.60 ウ)と𠂔(軛 5.71 ウ)の字を有し、凡の字を凡に作る。凡の字は隸定の後、およそ魏の時に「魏靈藏造像」のように上部に一画が加えられた。

11. 『萬象名義』所出の佻・妊などは、毛の旁を毛に作る。此の字形は魏「兗州刺史元弼墓誌」の宅の字に見られる。毛は隸定の後一点が加えられた。よってこれは楷書の複雑化された俗字である。

12. 『萬象名義』所出の枝・芰などは、支の旁を支に作る。此の字形は魏「元恭墓誌」に見られる。支の字は隸定の後、一点が加わった。

13. 『萬象名義』所出の拊・昇などは、升の旁を升に作る。此の字形は「樂安光磚誌」に窺える。升の字は隸変の後一点が加わった。

14. 『萬象名義』所出の仰・抑などは、印の部分に印を作る。この字形は齊「元賢墓誌」に見られる。顧藹吉は「按、『説文』作印。亦作抑、從反印。碑不反。他碑復省為印。今俗因之<sup>405</sup>。」と云う。印の字はおそらく南北朝に至って一点が加わったと考えられる。
15. 『萬象名義』所出の冉・髻などは、冉の字を冉に作る。顧藹吉は「按、『説文』作𠂔。碑變作冉。今俗因之<sup>406</sup>。」と云う。この隸変した冉の字は、その後中間の縦一画が底部まで伸び、さらにその縦一画が上部で一画に独立した。この字形は唐「張玄弼墓誌」に窺える。
16. 『萬象名義』所出の繹・禪などは、辵の旁を辵に作る。辵の字は隸変の時に「華山廟碑」の澤のように上部の𠂔に一画が加わる。幸の部分は唐代に至ってようやく横一画が増える。此の字形は「翟突娑墓誌銘」の澤の字や「二教論」の幸の字に見られる。『萬象名義』と字形が完全に一致する例は見出だせないが、総じてこれは唐代に作られた隸書で複雑化された楷書でも複雑化された俗字であると考えられる。
17. 『萬象名義』所出の瑜・論などは、俞の旁を俞に作る。俞の字は隸定の後、おそらく隋唐に至って横一画が加わった。
18. 『萬象名義』所出の健・髻などは、聿の旁を聿に作る。顧藹吉は「按、『説文』作津。隸省作津。」と云う。隸変した津の字は唐代に至って「黃仕強伝」の建のように一点が加わった。
19. 『萬象名義』所出の夷・俛などは、夷の字を夷に作る。この字形は魏「銀青光祿大夫于纂墓誌」とよく似ており、また哉と蔑の俗字とも似る。ただし『萬象名義』の字形のみ右辺に撇の一画がない。
20. 『萬象名義』所出の誣・覘などは、巫の旁を巫に作る。この字形は魏「呂望表」と一致する。巫の字は隸定の後、魏の時代に至って横一画が加わった。
21. 『萬象名義』は  (冀 1.42 オ) と  (驥 6.28 オ) の字を有し、冀の旁を冀に作る。この字形は唐「王仲建墓誌」と一致する。冀の字は隸変の際に「景北海碑陰」のように上部が二画となり、唐代に至ってさらに横一画が加わった。
22. 『萬象名義』所出の璫・蓋などは、盡の旁を盡に作る。この字形は「仏経」に窺える。盡の字は隸変の際に「史晨奏銘」のように烈火の四点が省かれ、その後中間に横一画が増えた。
23. 『萬象名義』は  (𧈧 1.96 オ) の字を有し、𧈧の旁を𧈧に作る。この字形は唐「敬善寺石象銘」の𧈧の字と似る。『正字通』は「𧈧、俗𧈧字。」と云い、『説文長箋』はまた「𧈧、與𧈧同。」と云う。
24. 『萬象名義』所出の灑・灑などは、灑の旁を灑に作る。この字形は隋「段濟墓誌」の灑

<sup>405</sup> 『隸辨』188頁。

<sup>406</sup> 『隸辨』118頁。

に見られる。𠃉の字は隸変の後に、下部の电における中間の日の形が左右に分かれて[𠃉]となった。この字形は隸定字の字形に戻っている。

25. 『萬象名義』は𠃉(𠃉 5.146 ウ)の字を有し、臺を臺に作る。この字形は隋「段濟墓誌」の臺に窺える。臺の字は隸定の後に、吉の縦一画が下に貫く。この変化は喜の俗字と同じである<sup>407</sup>。

26. 『萬象名義』所出の央・央などは、央の字を央に作る。この字形は魏「元勰妃李瑗華墓誌」の央に見られる。央の字は隸定の後に、中間に横一画が増やされ、さらに下方の二画

が中央の縦一画と繋がった。また『萬象名義』は𠃉(𠃉 6.132 ウ)の字を有する。この字形は魏「王僧墓誌」の央の字と等しい。

27. 『萬象名義』所出の祝・祝などは、兄の字を兄に作る。この字形は齊「武昌王吐谷渾氏墓誌」の兄の字を一致する。兄の字は隸定の後に横一画が増えた。

28. 『萬象名義』所出の斤・斤などは、斤の旁を斤に作る。この字形は齊「是連公妻邢夫人墓誌」の斤の字に見られる。斤の字は隸定の後に横一画が加えられた。

29. 『萬象名義』所出の𠃉・𠃉などは、𠃉の字を𠃉に作る。この字形は夷の俗字とよく似る。𠃉の字は𠃉の部分において、「樊陽令楊君碑」と「鄭固碑」の𠃉のように左側が省略されて一画となり、さらに魏「皇甫驎墓誌」の𠃉のように一の部分が増える。『萬象名義』の当該字と完全に一致する字形の文字例は見られないが、この字は隸書で簡略化され、楷書で複雑化された俗字であると考えられる。

30. 『萬象名義』所出の𠃉・𠃉などは、𠃉の旁を𠃉に作る。この字形は魏「元勰墓誌」の𠃉に窺える。𠃉の字は隸変に際して𠃉の部分𠃉となった後に、上方の横一画と𠃉の部分𠃉が繋がって𠃉の形となった。

また『萬象名義』は𠃉(𠃉 5.53 オ)の字を有し、𠃉の旁を𠃉に作る。この字形は「仏説觀仏三昧海經」の𠃉と同一である。𠃉の字は隸変の後に𠃉の部分𠃉となり、上方の横一画と𠃉の部分𠃉が交わって𠃉の形となった。

31. 『萬象名義』所出の𠃉・𠃉などは、𠃉の旁を𠃉に作る。この字形は隋「龍藏寺碑」の𠃉の字と等しい。また『萬象名義』は𠃉(𠃉 6.18 ウ)の字を有する。この𠃉の字形は齊「比丘惠瓌造像」の𠃉の字と一致する。

32. 『萬象名義』所出の𠃉・𠃉などは、𠃉冠を𠃉に作る。この字形は魏「邢巒妻元純陀墓誌」の𠃉の字に窺える。「魏上尊號奏」の𠃉の字は𠃉に作り、この𠃉冠は睡虎地「秦 125」の

<sup>407</sup> (二)、複雑化された俗字、38. 𠃉=喜を参照。

虞の字 **𧇗**<sup>408</sup>と等しい。よって「魏上尊號奏」の廬の字は隸定字であると考えられる。虎冠は隸定の後、左側の撇いが長くなった。

33. 『萬象名義』所出の駿・駿などは、夂の旁を夂に作る。この字形は隋「元公墓誌」の俊の字に見られる。俊の字は隸変の時に八の部分が横一画に変化し、その後さらに横一画が加わった。

34. 『萬象名義』所出の復・复などは、复の旁を夏に作る。復の字は隸変の時に上方の一画が省かれ、その後さらに中間に横一画が加わった。この字形は隋「趙朗墓誌」の復の字に見られる。

35. 『萬象名義』は **𧇗** (極 2.29 ウ)の字を有し、巫の旁における又の部分のをくに作る。この字形は魏「元湛妻薛慧命墓誌」の極の字と相い似る。極の字は隸変時に又の部分がく

に変化した。顧諱吉は「按、『説文』取從耳從又。碑譌作**取**。**取**即取字。從耳下垂。讀若輒、與取異<sup>409</sup>。」と云う。その後上部にさらに二画が加わった。

36. 『萬象名義』所出の或・或などは、或の旁を或に作る。この字形は魏「元始和墓誌」の或の字と類似する。或の字は或に変化した後、厶の部分の下の一画が三点に変化した。

37. 『萬象名義』所出の隣・隣などは、舛の旁を舛に作る。この字形は魏「姚伯多造象」の舜の字に窺える。舛の字は隸変の時に牛の部分が丰に変わり、そのさらに一点が加わった。

『萬象名義』は夕を夕に作る。この変化は爻の俗字の変化と同じである<sup>410</sup>。

38. 『萬象名義』所出の嬉・喜などは、喜の中心を縦に貫く。この字形は「自在王菩薩經」の喜の字と等しい。また『萬象名義』所出の喜・喜などの字形は、隋「半瑋墓誌」の喜の字と等しい。両者とも楷書の複雑化された俗字と言える。

### (三)、混同された俗字

1. 『萬象名義』は **𧇗** (備 6.36 オ)と **𧇗** (輔 6.123 ウ)の字を有し、備を備に作る。この字形は唐「大泉寺三門記」の備の字に見られる。備の字は隸変の時に「無極山碑」の備のように上部が又の字に変形する。その後、又の字はさらに欠の字となり、下部の用の字は田の字に変わった。



2. 『萬象名義』所出の眉 (6.108 オ)の字などは、その字形を魏「三級浮図頌」の **𧇗** (眉)


<sup>408</sup> 『睡虎地秦簡文字編』72頁。




<sup>409</sup> 『隸辨』93頁。


<sup>410</sup> (三)、混同された俗字、23.歹=爻を参照。



411と同様に作る。眉の字は隸変の時に眉となり、そののち底部にハを加えてと肩なった。この変化は賓の隸変の影響を受けていると思われる<sup>412</sup>。


3. 『萬象名義』は  (聾 1.49 ウ)と  (聾 1.79 オ)の字を有し、聾を聾に作る。この字形は「正名要録」の聾の字に窺える。聾は隸変の際に下部が「劉熊碑」や「曹全碑」の聾

のように耳の字に似た字形となる。この字形の上部は「桐柏廟碑」の  (聾)と同様の变化をしたため<sup>413</sup>、後に聾の字は聾の字と混同した。また今挙げる聾と聾の二字は、土偏と女偏を上部に移動させる。よってこれらは同時に位置が移動された俗字である。

4. 『萬象名義』所出の肥・範などは、巴の旁を巳に作る。顧藹吉は「按、『説文』肥從肉從卩。卩隸卩字也。與卩同。」と云う。また顧氏は「按、『説文』范從 、從 。𠃉讀若頷。碑變從己。他碑或從巴。皆偏旁卩字也。相混無別<sup>414</sup>。」とも云う。顧氏の説く「他碑」の中には「張約碑陰」の范の字を含めることが出来るだろう。ここから隸変の時に巴・卩の二字はすでに己の字と混同し始めていることが知られる。その後、卩の字はさらに巳の字に変化した。

5. 『萬象名義』は  (𠃉 1.26 オ)の字を有し、𠃉の旁に一点を加えて𠃉とする。『正字通』は「𠃉、俗加點作𠃉。」と云う。隸書においてこの𠃉の字は見られないが、敦煌の俗字の中に「發願文範本等」の𠃉の字があり、『萬象名義』と同一である。𠃉への変形と所謂る「戈旁」と関係があると思われる。𠃉の最後の三画が戈の字と同じ筆勢であるため、一点が加えられたと考えられる。

6. 『萬象名義』は  (瞽 2.76 オ)や  (瞽 5.4 オ)などの字を有し、瞽の旁を瞽に作る。隸変において瞽は瞽に変化する<sup>415</sup>。その後、「夏承碑」の瞽の字に見られるように右の傍の中間に一点が加わり、「元恭墓誌」の瞽のように盲(旨)と混同した<sup>416</sup>。

『萬象名義』は  (瞽 5.140 オ)の字を有し、瞽の旁を瞽に作る。瞽の傍の変化は瞽の字と相い似る。隸変の時、𠃉の字は左右それぞれが无の字に変化し<sup>417</sup>、その後、右の傍の

<sup>411</sup> 『碑別字新編』100頁。

<sup>412</sup> (一)、簡略化された俗字、2. 賓=賓を参照。

<sup>413</sup> 【大柴 2008 : 56】、15. 聾=聾を参照。

<sup>414</sup> 『隸辨』119頁。

<sup>415</sup> 【大柴 2008 : 69】、14. 瞽瞽=瞽を参照。

<sup>416</sup> 【大柴 2008 : 69】、11. 盲=旨を参照。

<sup>417</sup> 【大柴 2008 : 69】、13. 无=无の変化表を参照。



中間に一点が加わり、さらに混同して旨(旨)となった。

7. 『萬象名義』所出の逃・佻などは、兆の旁を地に作る。この字形は隋唐の俗字に由来し、唐「劉通墓誌」の眺の字に窺える。兆の字は隸定で北に作る。その後、左方のコの部分の字形が似ることによって土の字に変わって地の字となった。

8. 『萬象名義』所出の忒・拭などは、式の旁を戎に作る。この字形は唐「翟惠隱墓誌」の式の字に見られる。式の字は隸定の後、工の旁が褚遂良「倪寛贊」の式のようにコの形に変化した。この変化は因の俗字の変化とよく似る<sup>418</sup>。その後右方はさらに撇いの一画が増えて、「翟惠隱墓誌」の式のように戈の字となる。

9. 『萬象名義』は憂(憂 2.9 ウ)の字を有する。小篆の憂は隸定の後、「武榮碑」の憂のように心の旁と又の旁が結合し始める。その後この部分は「衡方碑」の憂のように友の字となる。さらに後、友の字は一点が加わって友の字となる。

10. 『萬象名義』は職(職 1.97 ウ)の字を有し、哉の旁を戎に作る。この字形は唐代の楷書の俗字に由来し、「辞傳母讀文一本」などに窺える。哉の字は隸変の時に口の部分と撇いの一画が結合し、撇いの一画が左側に吸収される。しかしその後、哉の字の右方が戈の旁と似るために、さらに撇いの一画が付け加えられた。

11. 『萬象名義』所出の昵・泥などは、尼の旁を厶に作る。尼の字は隸変の後に北魏の頃、「慈香造像記」の尼の字に見るように、匕の部分工の形に変化し始める。『説文』の老の項は「从人毛匕。」と云う。しかし老の字も北魏に至って「高貞碑」のように匕の部分はすでに工の形となっている。

12. 『萬象名義』所出の充・黠などは、充の旁を死に作る。この字形は「太子成道経」の充の字に見られる。この字は隸定の後、允の部分「大般涅槃経」の充の字のように允の字

形に変化した。東晋の王羲之「集字聖教序」における説の字<sup>419</sup>は、允の部分の字形がこれと同様である。よってこの字形変化は遅くとも東晋の時にはすでに現れていたと考えられる。その後、允の字は右方に一画が加わって夕の字と匕の字に分かれ、死の字となった。この字形は上部の一点を除いて死の字と同じであるため混同されたと思われる。

13. 『萬象名義』所出の戒・誠などは、戒の旁を戎に作る。この字形は唐の虞世南「孔子廟堂碑」の戒の字に見られる。戒の字は隸定の後、上から二番目の横一画が大の部分と結合して冫となる。その後右方に撇いが一画加わって戈となった。

14. 『萬象名義』所出の害・瞖などは、害の旁を害に作る。この字形は魏の楷書の俗字に由来する。害の字は隸変の時に、主の部分の横一画が省かれて土の字形となった。その後、この土の字形は魏「元融墓誌」の害の字に見るように、さらに変化して工の字形となり、

<sup>418</sup> (一)、簡略化された俗字、8.日=因を参照。

<sup>419</sup> 『王羲之書法字典』533頁。

害の字は害となった。『萬象名義』は害に作り、舌に従う。この字形は「元融墓誌」の害の字と一致せず、おそらくは高山寺本の書写人の誤写であると思われる。

15. 『萬象名義』所出の散・讞などは、支の旁を支に作る。この字形は「洞淵神咒經・斬鬼品」の敷の字に見られる。小篆の敷は𠂔に作り、支に従う。隸変の時に支は簡略化されて父となる。その後、おそらく唐代の時に父の字は支の字となり、さらに俗字化して支となった。

16. 『萬象名義』所出の致・致などは、父の旁を支に作る。この字形は「御注金剛般若波羅蜜經宣演卷上」の致の字に見られる。致の字は隸変の時に、「尹宙碑」の致のように父の旁がすでに混同して支の字となった。顧藹吉は「按、『説文』作致、従父。父讀若綏。諸碑皆作変体、無従父者<sup>420</sup>。」と云う。その後、支の字は俗字化して支となった。

17. 『萬象名義』は𠂔(𠂔 1.56 𠂔)の字を有する。この字形は唐「高士楊崇墓誌」の舟の

字と同一であり、また唐「張玄弼墓誌」冉の字 **舟** のように冉の俗字とも一致する。よってこの字は混同された俗字であると言える。

18. 『萬象名義』は𠂔(𠂔 1.52 𠂔)字を有する。この字形は「太玄真一本際經・聖行品」の痊の字に見られる。全の字は隸変の時に、「郗閣頌」のように縦一画の上部が欠けて一の字と工の字とに分かれる。その後、隋「宋永貴墓誌」の全の字に見られるように一の字は一点に変化し、工の字はコの形に変化した。そして最後に令の字と混同された。

19. 『萬象名義』所出の𠂔・𠂔などは、處の旁を𠂔に作る。顧藹吉は「堯廟碑」の項におい

て「按、『説文』據従處。碑変従處。」と云う。處の字は隸変で **𠂔** (「楊信碑」<sup>421</sup>) に作る。その後、この字は魏「郭顯墓誌」における𠂔の字のようにさらに一点が加わった。

20. 『萬象名義』は **𠂔**(班 1.29 𠂔)の字と **𠂔**(辨 1.92 𠂔)の字を有し、リの部分を𠂔に作る。この字形は唐「盧承業妻李墓誌」と同一である。

21. 『萬象名義』所出の微・𠂔などは、微の旁を微に作る。この字形は魏「安定王造象」の微の字に窺える。顧藹吉は「按、『説文』微従散、散従人従支従豈省。諸碑微皆変体、無従人者<sup>422</sup>。」と云う。

22. 『萬象名義』所出の響・響などは、郷の旁を𠂔に作る。隸変字と楷書の俗字の中にこの字を見出すことはできない。「魯峻碑陰」の郷の字は乡の旁を𠂔の字のように作る。もしかしたらこれがその後𠂔に変化したのかもしれない。その由来を確かに知り得ないが、

<sup>420</sup> 『隸辨』123頁。

<sup>421</sup> 『隸辨』91頁。

<sup>422</sup> 『隸辨』17頁。

この字は混同された俗字である。

23. 『萬象名義』所出の鬻・𧇗などは、𧇗の部分で𧇗を作る。この字形は「御注金剛般若波羅蜜經宣演卷上」における𧇗の字に見られる。𧇗の字は先ず夕の字に変化し、その後さらに変化して𧇗の字となったと考えられる。

24. 『萬象名義』は𧇗 (𧇗 2.4 オ) の字を有する。この字形は「造交龍碑像記」の𧇗の字に見られる。𧇗の字は隸変の時に、未の旁を来に作る。顧藹吉は「按、『説文』𧇗從未。碑變從來<sup>423</sup>。」と云う。その後、𧇗の部分がさらに力の字に変化した。この字形変化は𧇗の字の隸変と類似するゆえ、混同されたと考えられる。

25. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の字を混同して𧇗の字に作る。この字形は齊「李仕芝造像」の𧇗の字に見られる。

26. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の旁を𧇗に作る。𧇗の字は隸変の時に二点が省かれ、その後、𧇗の部分が𧇗の字形に変化した。隸変字の中にこの𧇗の形は見られず、隋代に至って、「□順墓誌」の𧇗の字に見られる。

『萬象名義』は𧇗 (𧇗 2.33 ウ) の字と𧇗 (𧇗 3.79 オ) の字を有する。前者の𧇗の部分は齊「逢哲墓誌」の祭の字と、また後者の𧇗の部分は魏「元鑽遠墓誌」の𧇗の字とよく似る。『萬象名義』において、𧇗の旁を有する字は往々にしてこの二字と一致する。例えば、

祭 (祭 1.17 オ)、祭 (祭 1.17 オ)、祭 (祭 1.17 オ) などがそれである。

27. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の旁を𧇗に作る。この字形は唐「真化寺如願律師墓誌」の𧇗の字に見られる。𧇗の字は隸変の後、𧇗の旁が分離し始める。𧇗の上方の横一画と𧇗の部分が合わさって𧇗の字形となり、𧇗の残りの部分である𧇗の字形が之繞 (𧇗) のような字形になる。

28. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の旁を𧇗に作る。𧇗の字は隸変の時に、𧇗の字形の部分が列火 (四点) に変わる。しかし𧇗の字形は魏「元瞻墓誌」の𧇗の字に見られ、これはおそらく小篆の𧇗の隸定が変化したものと思われる。

29. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の旁を𧇗に作る。この字形は魏「李憲墓誌」の𧇗の字に見られる。𧇗の字は隸変の時に上部が簡略化し、その後、さらに変化して𧇗の字形となった。

30. 『萬象名義』所出の𧇗・𧇗などは、𧇗の旁を𧇗に作る。この字形は魏「任城文宣王太妃馮墓誌」の𧇗の字に見られる。𧇗の字は隸定の後、魏代に至って𧇗の字と混同した。

31. 『萬象名義』は𧇗 (𧇗 1.50 ウ) や𧇗 (𧇗 1.52 ウ) などの字を有し、𧇗の旁を𧇗に作る。

<sup>423</sup> 『隸辨』16頁。

この字形は齊「劉碑造象」の攝の字に見られる。聶の字は隸変の時に下部にある二つの耳の旁が結合し、その後さらに変化して用の字となった。

32. 『萬象名義』は **訃** (訃 3.15 ウ) と **訃** (訃 3.53 オ) を有し、ㄩの旁をㄩに作る。隸書の中にこの字形を見い出すことはできない。この字形は魏「于景墓誌」における叫の字にみられる。

33. 『萬象名義』所出の謙・嫌などは、兼の字を兼に作る。この字形は唐「周志遠造像」の兼の字に見られる。兼の字は隸変の時に底部が列火(四点)と混同し、その後さらに二つの人の字形に変化した。

34. 『萬象名義』所出の蘭・欄などは、束の旁を束に作る。この字形は「太子成道経」の棟の字に見られる。束の字は隸定の後、唐代に至って束の字と混同した。

『萬象名義』所出の勑・凍などは、束の旁を束に作る。この字形は唐「張玄弼墓誌」の束の字と相い似る。束の字は隸定の後、中間の二点がそれぞれ人の字形に変化した。『萬象名義』の当該字も同様に人の字形に作るが、中間の縦の画が分断され、下部が木の字形に変化し、さらに中間の口が塞がっていない<sup>424</sup>。この字形の由来は不明である。あるいは高山寺本の書写人の誤写かもしれない。

35. 『萬象名義』所出の瞑・瞑などは、冥の旁を冥に作る。この字形は隋「馬鑣墓誌」の冥の字と相い似る。この字形は目と大に従う。しかし隸書の中でこの字形は見られない。

『萬象名義』は **冥** (冥 1.95 ウ) と **冥** (冥 4.57 ウ) の字を有し、冥の旁を冥に作る。この字形は「太上洞玄靈宝妙経衆篇序章」の冥の字に見られる。顧藹吉は「按、『説文』冥、従日従六一聲。碑変従宀従大。他碑或従宀従目<sup>425</sup>。」と云う。冥の字の隸変は宀と大に従う。その後、さらに日の字が目の字形に変化した。

36. 『萬象名義』所出の彌・璽などは、爾の旁を爾に作る。この字形は隋「張濤妻礼氏墓誌」の爾の字に見られる。爾の字は隸定の後、四つのメの部分それぞれ人の字形に変化し、上部の横一画がへへの字形に変化した。

37. 『萬象名義』所出の熟・煮などは、烈火を火の字に作る。この字形は「正名要録」の熟の字や「啓顔録」の煮の字に見られる。小篆の火の字形は隸変の時に四点の烈火に変わり、およそ唐代の時にまた小篆の原形に戻って火の字形となった。

38. 『萬象名義』所出の鞏・恐などは、巩の旁を汩に作る。この字形は隋「宮人来女田氏墓誌」の恐の字に見られる。顧藹吉は「按、『説文』恐従巩、巩従卂。碑変従几<sup>426</sup>。」と云う。恐の字は隸変の時に、卂の部分が几の字形に変わる。その後、几の字は隋「謝岳墓誌」恐の字のようにさらに口の字形に変化し、工の部分は彡の字形に変化した。

<sup>424</sup> その字形は別の機会に発表予定の「俗字表」で確認されたい。

<sup>425</sup> 『隸辨』68頁。

<sup>426</sup> 『隸辨』181頁。

39. 『萬象名義』は **場** (場 1.34 才) や **腸** (腸 2.65 才) などの字を有し、易の旁を易に作る。この字形は「受八閏齊戒文」の場の字に見られる。易の字は隸定の後、唐代に至って易の字と混同した。『説文解字注』(『段注』)は「場、失羊切。俗作場。」と云う。

40. 『萬象名義』所出の妖・𩇑などは、夭の旁を反に作る。この字形は魏「元或墓誌」の妖の字に見られる。顧藹吉は「劉寛碑」の項において「按、即妖字。妖從夭。諸碑或作反<sup>427</sup>。」と云う。夭の字は隸変の時に反の字形に変化し、その後さらに一点が加わって反の字形となった。これは戈の俗字と混同したためである。よってこの字は隸書において混同して反となり、楷書において又混同して反となった俗字である。

『萬象名義』所出の突・突などは、犬の旁を反に作る。この字形は魏「兗州刺史元弼墓誌」の突の字に見られる。顧藹吉は「按、『説文』作突、下從犬。碑変作反<sup>428</sup>。」と云う。犬の字は隸変の時に反の字形に変化し、その後さらに一点が加わって反の字形となった。『龍龕手鑑』は「突、俗。突、正。」と云う。

『萬象名義』は **突** (突4.29ウ) や **突** (突5.94才) などの字を有し、突の字を突に作る。この字形は魏「元融墓誌」の突の字と同一である。犬の字は魏の時に反の字形に変化し、また穴冠はウ冠に変わった。『集韻』は「突、突或省。」と云う。

41. 『萬象名義』所出の賤・踐などは、𠂔の旁を𠂔に作る。この字形は「員外散騎侍郎元思墓誌」の賤の字に窺える。𠂔の字は隸定の後、上部の戈の部分が土の字形に変化した。

42. 『萬象名義』は **臺** (臺 5.54 ウ) の字を有する。この字形は魏「元延明墓誌銘」の臺の字に見られる。臺の字は隸定の後、亼の部分高をに作る。これは高の字と同一である。

43. 『萬象名義』所出の佐・惰・𠂔などの字は、工の旁を匕に作る。この字形は魏「元欽墓誌」の差の字に見られる。

44. 『萬象名義』所出の遮・庶などは、庶の旁を庶に作る。この字形は魏「王偃墓誌」と宋「爨龍顔碑」の庶の字に見られる。庶の字は隸変の時に、下部が火の字形から烈火(四点)に簡略化され、魏の時にさらに二つの人の字形に変化した。

45. 『萬象名義』所出の儻・鹿などは、鹿の字形における比の部分二つを二つの人の字形に作る。隸変の後、匕の部分は齊「李琮墓誌」や「隸古定尚書」における鹿の字のように、人の字形あるいは厶の字形に変化した。しかしながら、鹿の字の下部を二つの人の字形に作る例は見られない。おそらくは、鹿の字形は庶の字形に似て、また庶の俗字を庶に作ることから<sup>429</sup>、高山寺本の書写人がこの二字を混同したと思われる。


46. 『萬象名義』所出の珣・柳などは、卯の旁を卯に作る。この字形は唐「姜行本碑」の卯

<sup>427</sup> 『隸辨』58頁。

<sup>428</sup> 『隸辨』172頁。

<sup>429</sup> (三)、混同された俗字、44.庶=庶を参照。

の字に見られる。卯の字は隸定の後、𠂔の部分が多の字形に変わった。


『萬象名義』は  (聊 1.82 オ)の字を有する。この字形は魏「米舍分造像」の卯の字に相い似る。𠂔の部分は𠂔の字形に変化し、𠂔の部分は一画が加わった。

47. 『萬象名義』所出の琬・琬などは、死の旁を死に作る。この字形は隋「范安貴墓誌」の琬の字に見られる。

48. 『萬象名義』所出の灌・勸などは、灌の旁を灌に作る。この字形は魏「元願平妻王氏墓誌」の灌の字に見られる。灌の字は隸変の時に𠂔の部分が一の字形に変化し、その後、𠂔の部分が多の字形となった。この字形は讓の俗字(讓)と同一である。

49. 『萬象名義』所出の耽・髻などは、允の旁を允に作る。この字形は隋智永「千字文」沈の字に見られる。允の字は隸変の時に「無極山碑」における耽の字のように允に変化した。この允の字はさらに「白石神君碑」の沈の字に見るように允となった。顧藹吉は「按、『五經文字』云、別作沉為沈沒之沈。徐鉉『説文注』曰、今俗別作沉。允不成字。非是<sup>430</sup>。」と云う。しかし隸書の中にこの允の字は見られない。おそらくその後、楷書の俗字の時代に、智永「千字文」の沈の字に見るように允の字が允の字形に変化したと思われる。

50. 『萬象名義』所出の覃・嬋などは、覃の旁を覃に作る。この字形は魏「元夫人陸孟輝墓誌」の覃の字に見られる。覃の字は隸定の後、早の部分が多の俗字(卑)に変化した<sup>431</sup>。『碑

別字新編』(433頁)における漢「樊敏碑」の譚の字は  に作り、この字形は『隸辨』の「樊敏碑」における譚の字と一致しない。『碑別字新編』の譚の字はおそらく誤写であろう。この字の俗字化は隸書の中にはまだ見られない。早の字の俗字も同様に見られない。ゆえにこの字は魏に至って初めて俗字化が進んだと思われる。

51. 『萬象名義』所出の威・葳などは、威の旁を威に作る。この字形は「楊吳天祐十二年殘墓誌」威の字に見られる。威の字は隸定の後、中央の一の部分が二つに割れて、下にある女の部分と合わさって安の俗字<sup>432</sup>となった。

52. 『萬象名義』所出の倅・諗などは、卒の旁を卒に作る。この字形は「賢愚經」の醉の字に見られる。卒の字は𠂔の部分で隸変で六の字形となった後、「仏説生經」における醉の字のように、さらに大の字形に変化した。その後、大の字形は「賢愚經」における醉の字のように、さらに変化して九の字形となった。『篇海』は「卒、卒字之譌。」と云う。

53. 『萬象名義』所出の陷・墮などは、冎の旁を伯に作る。この字形は「傷寒論・辨脈」の陷の字に見られる。冎の字は隸変の後、冎の部分で魏「高貞碑」における舊の字のように旧の字形に変化した。上部の力部分は分離して旧の字形を繋がって伯の字となった。

54. 『萬象名義』所出の搜・鏹などは、叟の旁における田の部分で伯に作る。小篆の叟は隸

<sup>430</sup> 『隸辨』76頁。

<sup>431</sup> 【大柴 2008 : 59】、31. 卑=卑を参照。

<sup>432</sup> (一)、簡略化された俗字、49. 安=安を参照。

変して搜の字形となった。顧藹吉は「按、『説文』作搜。『五經文字』云、搜、經典相承隸省<sup>433</sup>。」と云う。搜の字は隸変の後、田の部分に伯を作る。伯の字形に従う搜の俗字は見られないが、𠂔の字が俗字化して伯の字となったことに鑑みれば、田の字形も伯の字形に変化した後、さらに伯の字となったと考えられる。

55. 『萬象名義』は𠂔(奮 1.67 ウ)の字を有する。この字形は隋「王世琛墓誌」における奮の字と相い似る。奮の字は隸変の時に、大の部分に六を作る。顧藹吉は「按、『説文』作奮、上従奮。奮従大従佳。碑変従六<sup>434</sup>。」と云う。その後、田の旁が旧の字形に変化した。おそらく𠂔の字の俗字を旧に作るため、この字形は舊の字と混同したと考えられる。

56. 『萬象名義』は𠂔(哭 2.40 ウ)の字を有する。この字形は唐「嗣曹王李戢墓誌」の哭の字に見られる。哭の字は隸変の時に、犬の旁を大に作る。その後、右方の口の部分が人の字形に変化した。この変化は坐の俗字と同じである。

57. 憲の字は隸変の時に、宀の部分が「夏承碑」の憲の字に見られるように一の字形と二の字形に分かれる。その後、このふたつの字形が結合して隋「故宋永貴墓誌銘」の憲の字に見られるように日の字形となった。顧藹吉は「按、『説文』憲従害省。碑復省作𠂔<sup>435</sup>。」と云う。

『萬象名義』は𠂔(擣 2.42 ウ)、𠂔(𠂔 6.148 ウ)、𠂔(憲 4.41 オ)などの字を有する。これらの宀の部分はそれぞれ異なるが、それらの字形の根拠を探し得ない。おそらくは三者とも日の字形の誤写であると思われる。

58. 『萬象名義』所出の梯・梯などは、弟の旁を弟に作る。この字形は隋「主簿張濬墓誌」の梯の字に見られる。弟の字は隸定の後、ノの部分に𠂔の字形に変化し、第の俗字と混同した。

59. 『萬象名義』所出の格・權などは、木偏を手偏に作る。この字形は魏「元彦墓誌」の横の字や魏「南石窟寺碑」の機の字に見られる。

60. 『萬象名義』所出の𠂔・𠂔などの字は、丑の旁を刃に作る。この字形は唐「鄭恕已墓誌」の𠂔の字に見られる。𠂔の字は隸定の後、𠂔の部分に刃の字形に変化した。

61. 『萬象名義』所出の𠂔・𠂔などは、𠂔の旁を𠂔に作る。この字形は唐「盧承業墓誌」の𠂔の字に見られる。𠂔の字は隸定の後、𠂔の部分が𠂔の字形に変化した。

<sup>433</sup> 『隸辨』74頁。

<sup>434</sup> 『隸辨』141頁。

<sup>435</sup> 『隸辨』142頁。

62. 『萬象名義』は𨮑(𨮑 1.48 ウ)の字を有し、草の旁を卓に作る。この字形は北魏「張猛龍碑」乾の字に見られる。乾の字は隸定の後に草の字形に変化し、その後さらに卓の字形となった。

63. 『萬象名義』は𦵑(𦵑 1.24 ウ)の字を有し、梟の旁を糸に作る。この字形は晋「徐義墓誌」燥の字に見られる。梟の字は隸変の時に、「張平碑」における藻の字や夆の字、あるいは「苑鎮碑」における藻の字のように、木の部分が夆の俗字(夆)に変化した。その後さらに品の部分が夆の字形に変化した。この糸の字は參の俗字と等しい。

64. 『萬象名義』は筋(筋 2.72 オ)の字を有し、月の部分を角に作る。この字形は「諸雜

人名一本」の筋(筋)<sup>436</sup>などに見られる。隸書の中に筋の字は窺えないが、小篆の筋(筋)に従えば、月の傍の隸定は「月」である。よって該字は楷書の混同された俗字と考えられる。

65. 『萬象名義』所出の暴・擗などは、暴の旁を暴に作る。この字形は「詩經」の暴の字に見られる。暴の字は隸変の時に、中間の土の部分、或いは出の部分と下方のハの部分に変化して共の字形となった。その後、氷の部分を除いて異の俗字(「雙恩記」の異の字)と同形となり、また氷の部分も小の字形となった。この字形変化は恭が恭となるのと同様である。『萬象名義』の各字は水に作るが、この字形はおそらく高山寺本の書写人の筆勢と思われる。

66. 『萬象名義』所出の肴・𦵑・𦵑などの字は、メの旁を又に作る。この字形は魏「呂望表」の肴の字と唐「明州刺史韋墳墓誌」の凶の字に見られる。これは言うまでもなく楷書の混同された俗字である。

67. 『萬象名義』は𦵑(𦵑 1.95 オ)字を有する。右辺の詹の旁は魏「鄭道忠墓誌」澹字と同一である。隸変の時に言の旁が舌の字形変化した後、さらに工の部分が土の字形となった。

68. 顧藹吉は「按、『説文』爽從大。篆文作爽。碑從篆文<sup>437</sup>。」と云う。故に「孔彪碑」の爽の字は隸定字と言える。爽の字は隸定の後に、メの部分はみな人の字形となり、また「隸古定尚書」の爽の字のように上部は一点と横一画(一)となった。この字形は『萬象名義』の

𦵑(𦵑 6.138 オ)と同形である。この字形にさらに横一画を加えれば、隋「杜乾緒造像」

の爽の字となる。『萬象名義』の𦵑(𦵑 5.106 ウ)はこれと同形である。爽の字における中

<sup>436</sup> 『碑別字新編』200頁。

<sup>437</sup> 『隸辨』109頁。



間の縦一画を省くと「正名要録」の駛の字となる。『萬象名義』の𪔑(鵝 6.58 才)はこれと同形である。

69. 『萬象名義』は𪔒(獵 2.31 才)や𪔓(獵 5.125 才)の字を有し、囟の旁を𠂔に作る。この字形は唐「處士王願墓誌」の獵の字と同一である。また『萬象名義』所出の獵・獵などは、𠂔の部分に𠂔を作る。この字形は魏「元徽墓誌」の獵の字と同一である。
70. 『萬象名義』所出の弭・張などは、弓の旁を方のように作る。この字形は「法句経」の彊の字に見られる。これは明らかに楷書の混同された俗字である。
71. 『萬象名義』所出の馘・穢などは、或の旁を彳に作る。この字形は隋「張佖墓誌」の或の字に見られる。或の字は或の字形に変化した後、厶の部分とその下にある一画が変化して么の字形となった。
72. 『萬象名義』所出の𪔔・協などは、力の旁を刀に作る。この字形は「衡方碑」の功の字に見られる。顧藹吉は「按、『五經文字』功從工從力、作功、訛<sup>438</sup>。」と云う。『萬象名義』所出の協の字などは、三個の力の字ををみな刀の字形に作る。隸書においてこのような字形は見られない。おそらくこの字形は楷書の段階の混同された俗字であると思われる。

#### (四)、同化された俗字

1. 『萬象名義』所出の傑・揲などは、桀の旁を朙に作る。この字形は唐「樊興碑」の傑
- (傑)<sup>439</sup>と一致する。桀の字は隸定の後、更に隋「龍山公墓誌」の傑、隋「鞏賓墓誌」の傑などの字形に変化し、遂に舛の部分に二つの歹の字となる。よってこれは楷書の同化された俗字であると考えられる。

2. 『萬象名義』は𪔕(顛 1.16 才)や𪔖(顛 1.62 才)の字を有し、顛の旁を顛に作る。この字形は唐「圭峰禪師碑」の顛の字に見られる。顛の字は隸変の後、頁の旁が眞の字と同化して顛の字形となった。
3. 『萬象名義』所出の鄮・僂などは、𪔗の旁を𪔘に作る。この字形は「大木乾連冥間救母變文」の譏の字に見られる。𪔘の字は隸変の時に兔の部分に免の字形となった。この変化は逸の字の変化と同一である<sup>440</sup>。その後、𪔘の部分に免の字と同化した。

<sup>438</sup> 『隸辨』3頁。

<sup>439</sup> 『碑別字新編』190頁。

<sup>440</sup> 【大柴 2008 : 62】、44. 免=兔を参照。

『萬象名義』は **𦉰** (𦉰 2.9 オ) の字を有し、𦉰の旁を𦉰に作る。この字形は「癸願文範本等」における𦉰の字や「碎金」における𦉰の字に見られる。𦉰の字は𦉰の字形に変化した後、さらに𦉰の字形となった。

(五)、位置が移動した俗字

1. 『萬象名義』は **𦉰** (𦉰 1.51 オ) や **𦉰** (𦉰 1.97 ウ) の字を有する。この字形は魏「高道悦墓誌」の京の字に窺える。京の字は隸変の時に一画が加わり、およそ魏の時に上部の一画が左方に移動した。この変化は𦉰の字の隸変字と同じである。この字形は隸書の中には見られない。この変化はおそらく楷書の段階で発生したと考えられる。
2. 『萬象名義』所出の𦉰・鳥などは、鳥の旁を鳥に作る。鳥の字は隸変の後、「仏説観仏三昧海經」における鳥の字のように𦉰の部分の第二画が第一画と離れ、「語対」における鳥の字のように中間の横三画の第一画となった。また烈火(四点)が横一画となった。宋代の蘇軾が書いた「赤壁賦」の鳥の字は、『萬象名義』と筆勢を同じくする。よってこの字形は宋代に至る前に出現していたと考えられる。
3. 『萬象名義』所出の𦉰・姪などは、𦉰の旁を𦉰に作る。𦉰の字は隸定の後、「劉熊碑」の𦉰の字に見られるように上部の左右二画が横一画に変化した。その後、その横一画の筆勢は、「広陽王妃墓誌」の𦉰の字に見られるように撇の筆勢へと変わった。
4. 『萬象名義』所出の𦉰・知などは、𦉰の旁を𦉰に作る。この字形は魏「元暉墓誌」の知の字に見られる。𦉰の字は隸変の後、上部の二画が移動して𦉰となった。
5. 『萬象名義』は **𦉰** (𦉰 1.66 オ) の字を有する。この字形は唐「黄君夫人劉氏龕銘」の𦉰の字と同一である。𦉰の字は隸定の後、上部の一画が左方に移動した。
6. 『萬象名義』所出の𦉰・趙などは、𦉰の旁を𦉰に作る。この字形は隋「房山華嚴經」の𦉰の字に見られる。𦉰の字における𦉰の部分、隸変の時に中間が縦二画と横二画に変化する。その後、縦の二画が上方に移動し、右辺の横の第一画を貫き、それによって𦉰が𦉰の字形となった。

<キーワード> 『篆隸萬象名義』、俗字、弘法大師